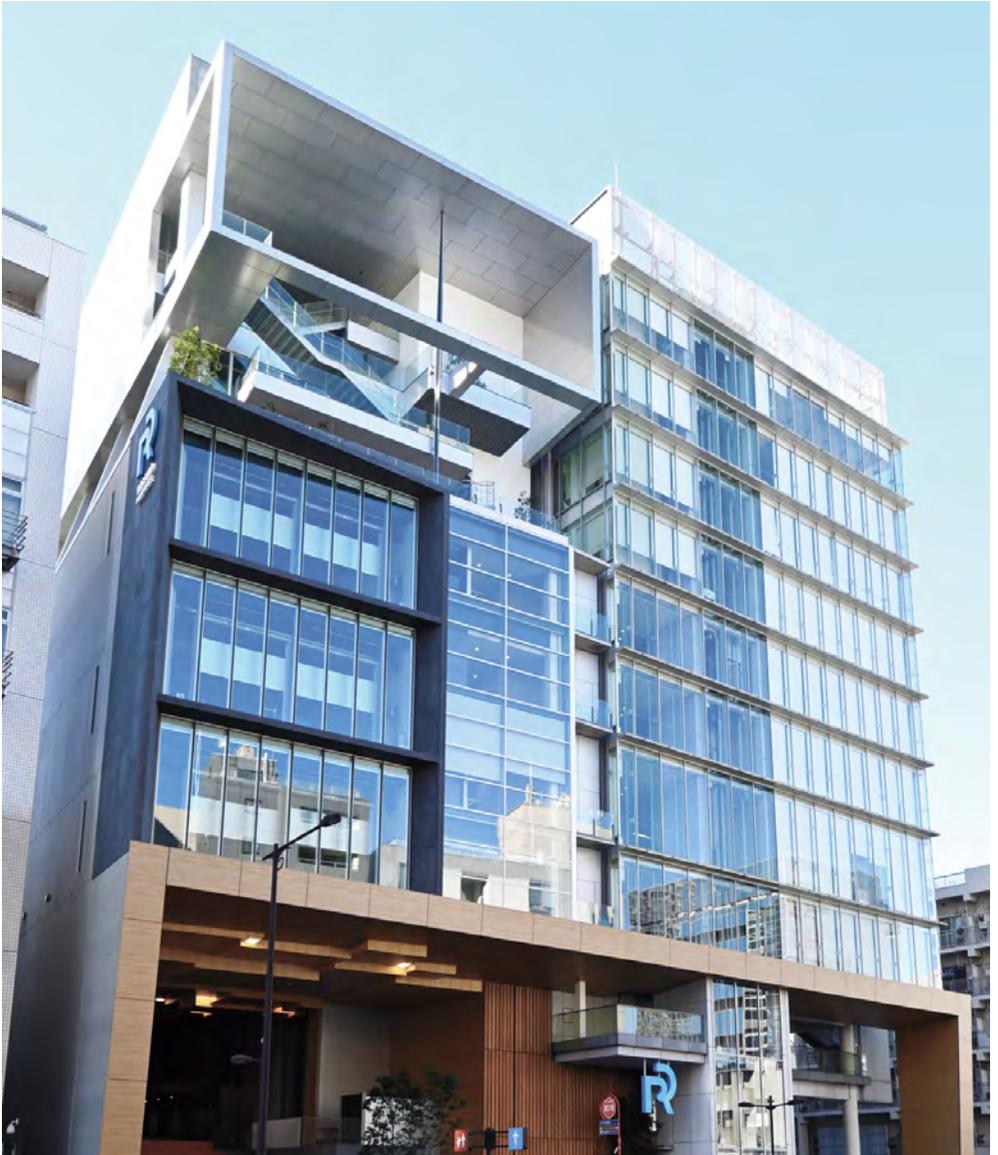


# 写真で見る 立正大学の 150年

 **RISSHO**  
UNIVERSITY







---

## 写真で見る立正大学の150年

立正大学

---

## 刊行にあたって

立正大学は2022(令和4)年に開校150周年を迎えます。その淵源は、日蓮宗僧侶の教育機関として1580(天正8)年、下総国飯高郷(現在の千葉県匝瑳市)に設置された飯高檀林(檀所・檀校)です。明治維新により檀林制度が廃止されたことに伴い、1872(明治5)年、東京芝二本榎(現在の東京都港区高輪)の承教寺に日蓮宗小教院が設立され、これをもって立正大学の開校の年としています。飯高檀林からの歴史をたどれば442年となり、日本で最も古い大学の1つであると紹介されることもあります。

その後、1904(明治37)年、専門学校令に基づき日蓮宗大学林として開校、1907(明治40)年には日蓮宗大学となりました。さらに1924(大正13)年には立正大学(旧制)が設置されます。そして1949(昭和24)年には学校教育法に基づいて新制の立正大学となり、今日では9学部16学科7研究科からなる総合大学として発展してまいりました。

このたび150周年記念事業の一環として、本誌『写真で見る立正大学の150年』(通称：リブレット版)を刊行いたします。大学史料編集室が所蔵する数万点に及ぶ写真の中から、年代が特定された約400点の興味深い写真を紹介しています。このリブレット版をご覧ください。このリブレット版を閲覧いただくことで、本学の歴史と伝統の一端をお楽しみいただけたら幸いです。

これからも教職員の皆さんと共に、立正大学学園の発展のために尽力して参ります。ご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



立正大学学園理事長 望月兼雄

## 大学の紹介



立正大学の淵源は、下総国飯高郷（現在の千葉県匝瑳市）に位置する飯高檀林にさかのぼります。飯高檀林は、日蓮宗の教育機関として1580（天正8）年に、教蔵院日生によって開設されました。1872（明治5）年に、東京芝二本榎（現在の東京都港区高輪）の承教寺に日蓮宗小教院が設立され、これが立正大学の開校の起点になっています。

「専門学校令」に基づいて、1904（明治37）年に東京府下荏原郡大崎村谷山ヶ丘（現在の品川区大崎）に日蓮宗大学林を設置、1907（明治40）年には「日蓮宗大学」となりました。さらに、「大学令」に基づき1924（大正13）年に立正大学（旧制）が設置され、日本で最も早い旧制私立大学のひとつでした。

第二次世界大戦後の1949（昭和24）年には、「学校教育法」に基づき新制の立正大学となり、現在は9学部16学科7研究科からなる総合大学として、堅実な歩みを進めています。2022（令和4）年には開校150周年を迎えます。

## 建学の精神

立正大学における「建学の精神」は、第16代学長であった石橋湛山のもとで、「立正精神委員会」（起草委員会）が組織化され、議論のうえ1961（昭和36）年に明文化されたものです。この建学の精神は、以下の3つの誓いに表されています。

- 一、真実を求め至誠を捧げよう
- 一、正義を尊び邪悪を除こう
- 一、和平を願い人類に尽そう

日蓮聖人が真の仏教者として社会に貢献する生き方を実践できたのは、「日本の柱」「日本の眼目」「日本の大船」になるという、若き日のこの「三つの誓い（三大誓願）」ゆえであったと、その著作『開目抄』に表現されています。建学の精神は、この三大誓願に倣ったものです。

立正大学で学ぶ者は、この「立正精神」を体得し、時代に適した知識と技術を修め、人類社会に寄与することを目標として欲しいと考えています。



## 「石橋湛山」ってどんな人？



石橋湛山

石橋湛山（1884—1973年）は、明治から昭和にかけて活躍したジャーナリスト、政治家でした。

1884（明治17）年、日蓮宗僧侶 杉田日布（身延山第81世）の長男として東京市に生まれ、父の郷里である山梨県の寺院で僧風教育を受けて育ちました。1907（明治40）年に早稲田大学哲学科を首席で卒業後、1911（明治44）年に東洋経済新報社に入社し、主幹や社長を務めます。国際経済の観点から植民地政策を批判した「小日本主義」は、独自の平和主義として異彩を放ちました。

戦後、1946（昭和21）年に第一次吉田内閣の大蔵大臣として政界に進出すると、さらに通産大臣としても活躍し、1956（昭和31）年には第55代内閣総理大臣に就任します。しかし、残念ながら翌年1月に病に倒れ、職を辞しました。それでも、日中米ソ平和同盟構想を提唱するなど、国際平和実現への意欲は衰えませんでした。

1952（昭和27）年には、戦災からの復興を期す立正大学に懇請され、第16代学長に就任します。学園財政が逼迫する中、16年にわたって「理想の大学」実現のために活躍しました。みずから教壇に立ち、数々の講演をおこない、新校舎建築や熊谷キャンパス開設も実現させました。

「真実を求め至誠を捧げよう。正義を尊び邪悪を除こう。和平を願う人類に尽そう。」という建学の精神も、石橋学長時代に定められたものです。日蓮聖人の三大誓願の根本思想は、この建学の精神を経て、現在へと継承されています。

『石橋湛山先生之像』より

# 歴代学長



学祖  
新居日薩



初代学長  
小林日董



第2代学長  
小泉日慈



第3代学長  
本間海解



第4代学長  
脇田堯悳



第5代学長  
久保田日遙



第6代学長  
杉田日布



第7代学長  
風間隨学



第8・11代学長  
清水龍山



第9代学長  
望月日謙



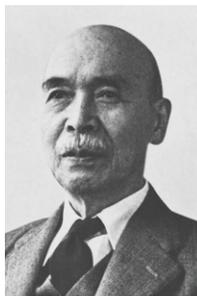
第10代学長  
関本龍門



第12代学長  
守屋賢教



第13代学長  
井村日咸



第14代学長  
望月敏厚



第15代学長  
飯沼龍徳



第16代学長  
石橋湛山



第17代学長  
坂本日深



第18・19・20・21代学長  
菅谷正貫



第22代学長  
中村瑞隆



第23・25代学長  
渡邊資陽



第24代学長  
大澤正男



第26代学長  
古西信夫



第27代学長  
坂詰秀一



第28代学長  
吉田榮夫



第29・30代学長  
高村弘毅



第31・32代学長  
山崎和海



第33代学長  
齊藤昇



第34代学長  
吉川洋



第35代学長  
寺尾英智

# 立正大学のユニバーシティ・アイデンティティ

---



## 校章

「大学」という文字を橘(たちばな)が支えるもの。橘は、日蓮聖人が好んだ植物でした。

---



## スクールカラー

グリーン。橘が常緑であることに由来しています。

---



## モラリス

学生による投票で名づけられました。本学が誇るとってもかわいらしいマスコットです。

---



## シンボルマーク

開校150周年に向けて制定された立正大学学園のシンボルマーク。伝統をふまえた未来志向、躍動感、社会とのつながりを表しています。若々しく明るい青色。

---

# 目次

刊行にあたって	2
大学の紹介	3
建学の精神	4
「石橋湛山」ってどんな人？	5
歴代学長	6
立正大学のユニバーシティ・アイデンティティ	8

## 立正大学の歴史篇

黎明期	10
建学から旧制大学まで	12
新制大学から文科系総合大学へ	26
「人間に関する総合大学」への新たな展開	52

## 立正大学の思い出篇

立正大学の歴史を物語る多様なモニュメント	74
立正生の「知りたい」をかなえる図書館	78
立正生が起居を共にし勉学に励んだ学寮	80
歴史ある部活・サークル活動の紹介	82
充実したキャンパスライフ	86
大学生活を華やかに彩る橘花祭・星霜祭・秋桜祭	88
熱戦を繰り広げた体育祭	90
時代が反映された様々なイベント	91
無声モノクロ映画『立正大学・立正中学』	92
かつての同窓会と立正大校友会	93
緊張感の伝わる入学試験の様子と、時代を感じる大学案内	94
新入生を歓迎する入学式	96
様々な場所で行われた卒業式	98
航空写真で見えるキャンパスの移り変わり	100

## 資料篇

略沿革	102
立正大学学園組織図	104

- ・本書は、立正大学開校150周年記念事業の一環として、大学史料編纂室が作成しました。
- ・大学史料編纂室が所蔵する数万点に及ぶ写真を整理したうえで、年月日が特定できた写真約400点を掲載しています。一部、月日が特定できない写真があり、年だけや年月だけを記載した箇所があります。
- ・写真内容の理解を助けるため、「施設」「人物」「組織」「イベント」「印刷物」「学生生活」「部活・サークル活動」「事件」という8つのアイコンを用いています。
- ・2012年以降の写真の多くは広報課より提供を受けております。
- ・品川キャンパスの名称は2014年から用いられるようになり、それ以前は大崎キャンパスという名称でした。そのつど記しておりますが、スペースの関係で記されていない箇所もあります。
- ・年の表記はスペースの関係から西暦を基本としていますが、必要に応じて和暦で表記した箇所があります。
- ・人物の肩書や各機関の名称は、基本的に当時の名称を用いております。

## 日本の出来事

1580

1871

- ・1582年 6月2日 本能寺の変
- ・1651年 8月18日 徳川家綱が江戸幕府の4代将軍に
- ・1868年 3月14日 五箇条の御誓文
- ・1871年 7月14日 廃藩置県

### 施設

## 立正大学の淵源、 飯高檀林

1580(天正8)年、日蓮宗僧侶の学問研鑽を行う機関として、下総国飯高郷(現在の千葉県匝瑳市)に飯高檀林が開創されました。檀林は修学課程と学事組織が制度化されており、徳育に基づく高い教育理念によって運営されていました。



飯高檀林総門(国指定重要文化財)

### 施設

## 多くの学徒が集う 一大学舎

檀林の中心には講堂があり、講義・集会・様々な行事が行われていました。その周囲には学寮も建てられ、諸設備の充実が図られました。整った組織・制度・施設、そして教育陣の学徳により、最盛期には1,000人を超える学徒を擁する一大学舎となります。



1651(慶安4)年建立の飯高檀林講堂(国指定重要文化財)



飯高檀林総門から講堂に続く杉並木と、1990(平成2)年に建てられた「立正大学発祥之地」記念碑



承教寺境内に残る石碑



日蓮宗小教院が開設された芝の承教寺

### 施設 立正大学の開校の起点

時代は明治に移り、日蓮宗の教育・研究機関として、1872(明治5)年に東京芝二本榎(現在の東京都港区高輪)の承教寺に日蓮宗小教院が設立、本学の開校の起点となります。

小教院は1875(明治8)年に大教院に改称。同年、飯高檀林は廃檀となりました。

1872

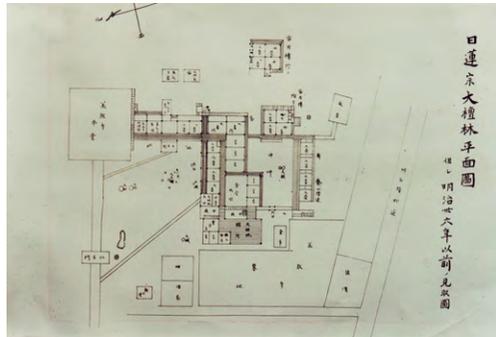
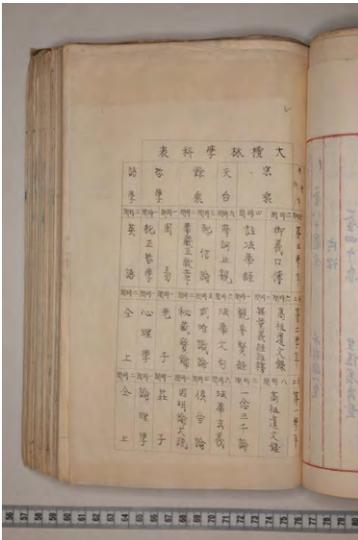
1902

- ・1872年 8月2日 学制発布
- ・1876年 3月10日 グラハム・ベルが通話実験に成功
- ・1883年 11月28日 鹿鳴館が開館
- ・1894年 7月25日 日清戦争が開戦



**組織** 日蓮宗臨時宗会開催

日蓮宗臨時宗会が開催。附属教育改革の原案が出る。また、大檀林学生より「教育に関する建議案」が提出（1895年6月）



**施設** 日蓮宗大檀林の見取図

1903（明治36）年以前の承教寺境内にあった日蓮宗大檀林の見取図

**学生生活** 日蓮宗大檀林学科表

第1～3学年の学科（宗乘・天台・餘乗・哲学・語学）一覧（1899年）※「日蓮宗大檀林設置認可申請書」提出時の付帯史料

イベント

## 日蓮宗大檀林卒業記念写真

日蓮宗大檀林の卒業記念写真。前列中央に大檀林長の小林日董(1899年)



イベント

## 日蓮宗大檀林の同窓会

芝の承教寺で開催された日蓮宗大檀林の同窓会。同窓会の創立は明治35年(1902年)

人物

## 日蓮宗大学林設立当時の教職員

日蓮宗大学林設立当時の教職員の集合写真。前列中央に初代大学林長の小林日董(1902年ごろ)





1908

1912

- ・1908年 9月27日 米フォードが「モデル T」をラインオフ
- ・1910年 5月25日 大逆事件(幸徳事件)が起こる
- ・1911年 2月21日 日米通商航海条約が改正(関税自主権を回復)
- ・1912年 4月14日 タイタニック号が沈没

◎日蓮宗大學秋期修學旅行 来る廿八日より五日間の予定にて身延山の靈地に詣ずる事に決したり而て途次極要の地に於て布教を開始する由なり十月廿八日午前七時四十八分大時騎乗車出發午後三時甲府驛下車一泊大布敷十月廿九日午前六時甲府出發青柳迄輕便鐵道昌福寺小籠小靈山へ參拜秋澤中食切石澤妙寺小籠下山常澤寺參拜身延山萬門へ一泊十月三十日午前六時精神園參拜、思親閣へ登り正午膳着食后靈寶拜觀山内巡拜引續き布教、宿泊十月卅一日午前六時出發大野本達寺參拜南野抄淨寺小籠内房宿泊十一月一日午前六時出發富士川を渡り岩木寶積寺參拜中食午後二時四十一分岩瀨驛乗車全七時四十分品川着歸校。

イベント

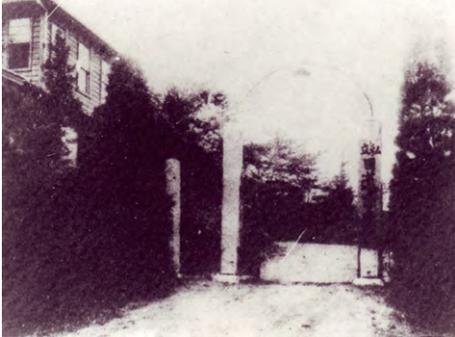
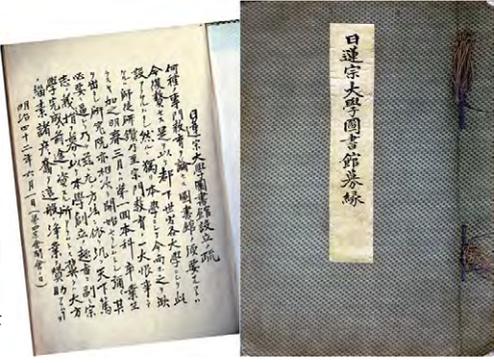
身延山への修学旅行日程

日蓮宗大学が初めて身延山へ秋期修学旅行を行ったときの日程(1908年10月28日～11月1日)

建学から旧制大学まで

施設 『日蓮宗大学図書館募縁』

多くの寄附者により建てられたことを示す、日蓮宗大学図書館の募縁。概要、図面、規定なども書かれている(1909年6月1日)



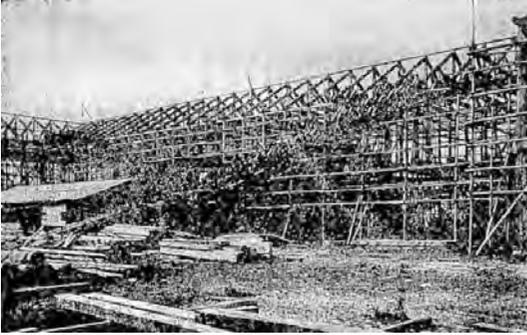
施設 日蓮宗大学正門

明治43年5月15日に正門新道開通式が行われた日蓮宗大学の正門。正門一式建築費(二百二十円)は下谷大徳寺住職關日認師の寄進(1910年)

1913

1918

- ・1913年 8月21日 東北帝国大学に3名の女性が合格
- ・1914年 3月19日 辰野金吾設計の東京駅が開業
- ・1917年 3月12日 ロシア二月革命が起こる（露歴では2月23日）
- ・1918年 12月 6日 大学令が公布



イベント

### 日蓮宗大学中等科校舎上棟式

大正6年5月28日に行われた日蓮宗大学中等科校舎の上棟式。同年9月12日に従来のバラック式仮教場より移転（1917年5月28日）

施設

### 辰野金吾博士設計による 中等科校舎

帝国大学工科大学（現・東京大学工学部）教授・工学博士として高名であった辰野金吾博士が設計した中等科教室棟の全景（1917年）



施設

### 辰野金吾博士設計による 日蓮宗大学講堂

辰野金吾博士設計・監理による講堂が竣工、大正7年6月9日に落慶記念式典が開催される（1918年）。辰野博士は、日本銀行本店、中央停車場（東京駅丸の内駅舎）、大阪市中央公会堂（中之島公会堂）の設計でも知られる



1919  
|  
1922

## 日本・世界の出来事

- ・ 1919年 6月28日 ベルサイユ条約が調印される
- ・ 1920年 1月10日 国際連盟が発足（日本も加盟）
- ・ 1921年 5月5日 シャネルの香水「N°5」が発売
- ・ 1922年 12月30日 ソビエト連邦が成立



### イベント

#### 星製薬株式会社と 試験動物供養会を開催

試験のために犠牲となった動物たちを回向する供養会を、星製薬株式会社  
の懇望により開催（1919年9月）

### イベント 講堂内部での弁論大会

本学講堂で開催された弁論大会には、本学をはじめ早稲田、慶應、中央、國學院、東洋などの各大学から数多くの学生が参加（1920年）



### 印刷物

#### 『日蓮宗大學一覽』

本学で初めての大学案内である『日蓮宗大學一覽』。大学の沿革や学則などが記載されている（1920年4月）

1923

1927

- ・1923年 9月 1日 関東大震災が発生
- ・1925年 11月 1日 山手線の環状運転が開始
- ・1926年 8月 6日 日本放送協会 (NHK) が設立
- ・1927年 7月 10日 岩波文庫が創刊

イベント

### 大学昇格、新校舎落成、 創立20周年記念祝賀会

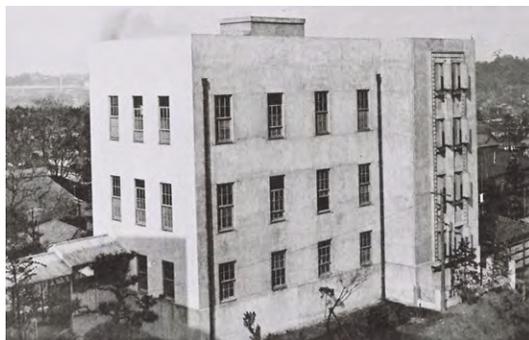
本学大講堂にて大学昇格、新築校舎落成、創立20周年の祝賀の盛典を挙げる。講演会などの記念行事も6月18日までの4日間にかけて盛大に行われた(1924年6月15日)



印刷物

### 創立20周年記念の絵葉書

本学創立20周年記念祝賀会で配布された絵葉書セットの1枚(写真は1924年4月14日竣工の新校舎)。絵葉書は7枚1組で、絵柄は校舎のほか「池上の晩鐘／目黒の夕照」など立正大学八景がある(1924年)



施設

### 新築された図書館

新しい図書館の落成式を挙げる。第一会場は新築図書館の研究資料展覧会、第二会場は中学校舎の洋書展覧会、漫画展覧会、模擬店等が開催された(1926年2月16日)

1928

1932

- ・ 1928年 1月12日 大相撲のラジオ放送が開始
- ・ 1929年 10月24日 ニューヨーク証券取引所で大暴落
- ・ 1931年 9月18日 満州事変
- ・ 1932年 5月15日 五・一五事件



学生生活 雪上での朝礼

中等科校舎前の校庭で行われた  
雪上での朝礼の様子(1928年)

イベント

日蓮宗史料展覧会を開催

大崎校舎に於いて立正大学史料編纂会  
主催の「日蓮宗史料展覧会」が開催さ  
れ、東京府内および近隣の各山各寺所  
蔵の宗史関係の文書・記録、先師御肖  
像等が展示される(1932年2月16日)



施設 柔剣道場が竣工

大正9年に設立された日蓮宗大学老  
百萬人會(大学昇格への活動を行う  
基金)の寄附により柔剣道場が竣工  
(1932年9月16日)

1933

1935

- ・1933年 3月4日 ルーズベルトが米大統領に就任し、ニューディール政策開始
- ・1934年 4月21日 忠犬ハチ公の銅像除幕式
- ・1935年 2月18日 天皇機関説事件が起こる
- ・1935年 3月16日 ドイツがベルサイユ条約を破棄し、再軍備



イベント

創立30周年記念行事

本学創立30周年を記念し、式典や講演会、提灯行列や運動競技大会など、様々な記念行事が行われた(1933年10月6日～8日)

イベント

専門部10周年記念の部歌

専門部創設10周年記念に作られた部歌(校歌)。作詞は歌人の山上ゝ泉、作曲は「どんぐりころころ」などで有名な梁田貞(1934年)



施設 香風学寮落慶式を開催

卒業式前に専百萬人會理事会を開催、新築寄宿舎の寄附を受納後、禮拜堂にて落慶式典を開催(1935年3月26日)

1936

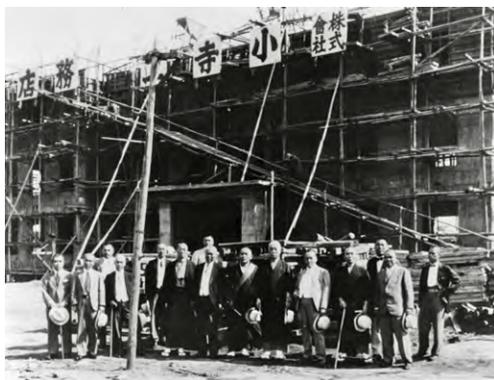
1938

- ・ 1936年 2月26日 二・二六事件が勃発
- ・ 1936年 7月17日 スペイン内戦が勃発
- ・ 1937年 7月7日 盧溝橋事件(日中戦争へ)
- ・ 1938年 4月1日 国家総動員法が公布

事件

### 立正中学校舎、 火災により全焼

立正中学校舎西側より発火、折柄の烈風に煽られ同校舎、大講堂、銃器庫が全焼(1936年2月23日)



イベント

### 立正中学校舎上棟式を举行

鉄筋3階建ての本館校舎が落成に近づき、木造建校舎も工事進捗するをもって上棟式を举行(1937年8月12日)

学生生活 **集团的勤労作業の実施**

「国防国家体制」が進められていく情勢のもと、文部省より通牒された「集团的勤労作業運動実施二関スル件」により勤労作業をする学生たち(1938年ごろ)



1939

1941

- ・1939年 8月15日 ミュージカル映画『オズの魔法使』がハリウッドでプレミア
- ・1939年 9月1日 第二次世界大戦が勃発
- ・1940年 9月27日 日・独・伊の三国同盟が締結
- ・1941年 12月8日 太平洋戦争が開戦



イベント

### 出征軍人遺家族慰安の夕

立正大学学生会主催の「出征軍人遺家族慰安の夕」（奉祝皇紀二千六百年本校創立三十七周年記念）が挙行され、合唱や演奏、舞踊、講談などの演目が催される（1940年6月16日）

学生生活 登校風景

当時の登校風景。峰原坂より階段を上った奥には昭和12年竣工の中学校舎（1940年）



イベント 大陸科展覧会

大陸科展覧会（蒙古関係）で民族衣装を身に着ける学生たち（1941年6月15日）

1942

1944

- ・ 1942年 6月 5日 ミッドウェー海戦
- ・ 1942年 6月 12日 アンネ・フランクが日記を付け始める
- ・ 1943年 10月 21日 出陣学徒壮行会が挙行（明治神宮外苑競技場）
- ・ 1944年 10月 20日 レイテ島の戦いの開始

学生生活

### 富士駒門廠舎の 軍事教練

富士山の裾野にある富士駒門演習場にて野外軍事教練を施行（1942年5月3日）



イベント 創立40周年記念祭

本学創立40周年記念祭が九段軍人会館において実施、学生劇「修善寺物語」などが上演される（1943年6月15日）

学生生活

### 出陣学徒必勝祈願式場 への行進

第二次世界大戦終盤、在学途中で徴兵され出陣学徒壮行会式場へ行進する学生たち（1943年11月）



# 1945

- ・ 8月6日 広島へ原子爆弾が投下(8月9日には長崎へ)
- ・ 8月14日 日本がポツダム宣言の受諾を決定
- ・ 9月5日 ソ連軍が日本の北方四島を占領
- ・ 11月29日 ユーゴスラビア社会主義連邦共和国が成立

## 施設 当時の大学本館前

当時の大学本館前の様子。時期不明であるが、中央の風間随学名誉学長の胸像は台座を残して軍に供出された(1943～1945年ごろ)



## 事件 戦禍の立正大学①

2回目の帝都爆撃を受けて被災、大学講堂・寮などすべての木造建造物を焼失。大学本館(左)と図書館(右)は損傷を受けながらも辛うじて難を免れる(1945年5月23日～24日)

## 事件 戦禍の立正大学②

戦禍の跡の校地全景。大学本館、図書館のほか、鉄筋の旧制中学本館が確認できる(1945年ごろ)



1946

1948

- ・1946年12月30日 文部省が新教育体系六三三四制を発表
- ・1947年5月3日 日本国憲法が施行
- ・1948年4月1日 新制高等学校が発足
- ・1948年4月7日 世界保健機関（WHO）が設立

日蓮宗大學生基金壹百萬人會	
理事會・會計監査會	
議案	
(昭和二十一年五月十五日後一時)	
一、役員異動報告	
二、本會解散ノ件	
三、昭和二十年年度收入支出決算報告	
四、昭和二十年度未保管金處理案	
保管金總額	金壹萬五千壹百四圓拾八錢也
處理方法	財團法人立正大學完成資金中へ 使途細目へ(右密附金ノ按分並 使途細目へ(財團法人立正大學理 事會へ一任ス) 以上
右各案承認	
昭和二十年年度收入支出決算報告	
收入總額	五五,壹〇四,壹八
一、前年度繰越金	壹八,五五四,〇八
二、會費收納金(三〇)	四七五,〇〇
三、特志會費收納金(一四〇)	壹五,叁〇〇,〇〇
四、預金利息	七七五,壹〇

組織

### 日蓮宗大学基金壹百萬人會が解散

1920(大正9)年に大学昇格への活動を行う基金として設立された日蓮宗大学基金壹百萬人會が役目を終えて解散(1946年5月15日)※写真は『日蓮宗宗報(改新第一號)』より抜粋



組織

### 立正地理学会が設立

立正地理学会が設立され、初代会長に田中啓爾(文学部)教授が就任(1947年)※写真は臨地調査中の田中教授。年代不詳



施設

### 大崎校舎教室棟が竣工

木造2階建ての大崎校舎教室棟(木造第1別館)が竣工(奥は1937年竣工の中学校舎)(1948年3月1日)

1949

1950

- ・1949年 9月 7日 ドイツ連邦共和国(旧西ドイツ)が発足
- ・1949年 11月 3日 湯川秀樹がノーベル物理学賞を受賞(日本人初)
- ・1950年 4月 1日 日本で短期大学制度が発足
- ・1950年 6月 25日 朝鮮戦争が勃発

印刷物

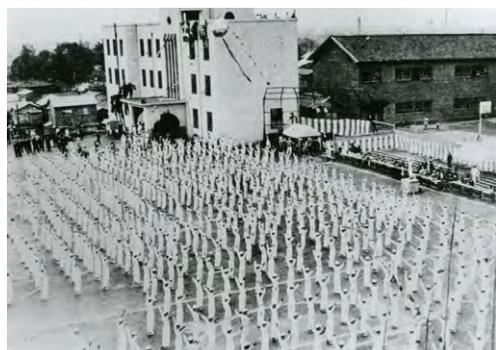
### 立正大学(新制)の入試用ポスター

新制大学としての立正大学の入試用ポスター。願書締切が試験前日まで(1949年)



イベント 身延山旅行

身延山久遠寺(山梨県)御真骨堂拝殿前での修学旅行記念写真(1950年)



イベント 運動会の風景

運動会で体操をする学生たち。奥には中学校舎と木造第1別館(1950年)

1951

1952

- ・ 1951年 1月 3日 第1回 NHK紅白歌合戦が放送
- ・ 1951年 4月 11日 マッカーサーがGHQの最高司令官を解任
- ・ 1952年 4月 7日 手塚治虫『鉄腕アトム』が連載開始
- ・ 1952年 4月 28日 サンフランシスコ平和条約により日本の主権が回復

学生生活 当時の学生食堂

学生食堂の様子。「特別御献立」と書かれた価格表(かつライスが60円、カレーライスが55円など)を見ると当時の物価がわかる(昭和27年の大卒国家公務員初任給:7,650円)(1951~1952年ごろ)



施設 屋上のサイレン撤去

東京市により「一朝事起こらばそれを品川・荏原、目黒三区一帯の市民に告げる警報」として1933年に本学本館(旧1号館)屋上に設置されたモーターサイレンが撤去される(1952年1月8日)

人物

石橋湛山が第16代  
立正大学学長に就任

当時衆議院議員であった石橋湛山が第16代学長に就任。1968年3月31日に任期満了で退任するまでの16年の長きにわたり学長職に(1952年12月1日)



# 1953

- ・ 1月15日 早川電機工業(現・シャープ)が国産第1号テレビを発売
- ・ 6月2日 イギリス女王エリザベス2世の戴冠式が史上初のTV中継
- ・ 9月15日 映画『君の名は』が公開、ブームに
- ・ 12月25日 アメリカより奄美群島が日本復帰



## 印刷物

### 『立正大学学園新聞』が創刊

学生が編集の主体となって刊行される学園新聞が創刊。全4面で学内の様々なニュースや寄稿文などが掲載された(1953年2月20日)



## イベント 石橋湛山学長就任記念大講演会

石橋湛山学長就任記念大講演会「日本経済の前途」および「世界情勢より観たる景気の見通し」が星薬科大学講堂にて開催される(1953年2月14日)※写真はそのことを伝える学園新聞

## 学生生活 学内書店

大学構内にあった書店の様子。教科書や書籍のほか、文具なども売られていた(1953年ごろ)



1954  
|  
1955

## 日本・世界の出来事

- ・ 1954年 2月 1日 マリリン・モンロー夫妻が来日
- ・ 1954年 7月 1日 自衛隊が発足
- ・ 1955年 7月 17日 米カリフォルニア州にディズニーランドが開園
- ・ 1955年 11月 15日 自由民主党が誕生(55年体制の始まり)



### 組織 日蓮教学研究所が開所

日蓮教学研究所の開所式で研究所名を揮毫する石橋湛山学長(1954年2月15日)



### 施設 体育館兼講堂が落成

近代的水準の設備を持つ体育館が完成。講堂としても使用されるため、音響と光に関しては細心の設計が施された(1954年3月5日)

### イベント 湯川秀樹博士が来校

第5回立正文化講座が開催、日本人として初めてノーベル賞を受賞した湯川秀樹博士が来校し「原子力と人類の進化」の演題で講演が行われた(1954年7月13日)



1956

1957

- ・1956年 5月17日 石原裕次郎主演映画『太陽の季節』が公開
- ・1956年10月19日 日ソ共同宣言が署名
- ・1956年12月23日 石橋湛山内閣が発足
- ・1957年 3月25日 ローマ条約によりEEC(ヨーロッパ経済共同体)が成立



印刷物

### 『立正学報』が創刊

在校生や同窓生に向けて立正大学のニュースを発信する機関誌が創刊(1956年3月5日)※1959年の第4巻第2号より『立正大学報』と改名

施設

### 新館鉄筋校舎が竣工

新館の第1期工事が終わり、3階建ての鉄筋校舎(旧2号館)が竣工(1956年3月31日)※その後、第2期増築工事を経て4階建てとなり横幅も拡幅される



イベント

### 石橋湛山学長が 内閣総理大臣に就任

本学校庭にて盛大に開催された石橋湛山学長の内閣総理大臣就任を祝う祝賀会の様子。石橋学長の挨拶は「日蓮聖人の精神について」であった(1957年1月17日)

1958  
|  
1959

## 日本・世界の出来事

- ・ 1958年 8月25日 世界初のインスタントラーメン「チキンラーメン」が発売
- ・ 1958年 12月23日 東京タワーの完工式が実施
- ・ 1959年 1月1日 キューバ革命が起こる
- ・ 1959年 6月25日 天覧試合で長嶋茂雄選手(巨人)がサヨナラ本塁打を放つ

### 学生生活 キャンパス風景

大学本館前の前庭でくつろぐ学生たち(1958年)



### 施設 柔道場が完成

旧食堂跡地に新しい柔道場が竣工(1959年10月)

### イベント

#### 経済学部創立10周年

経済学部創立10周年記念行事が大学祭に合わせて開催、祝賀会のほか講演会、音楽、落語などが催された(1959年10月23日～26日)



1960

1961

## 日本・世界の出来事

- ・1960年 1月1日 カメルーンがフランスより独立（アフリカの年）
- ・1960年 2月23日 浩宮徳仁親王（現在の天皇陛下）が誕生
- ・1961年 4月12日 ソ連のガガーリン飛行士が人類初の地球一周に成功
- ・1961年 9月3日 三船敏郎がヴェネツィア国際映画祭で最優秀男優賞を受賞

### 学生生活 通学定期券

品川駅で発行された当時の通学定期券。品川駅から五反田駅間の定期代が1カ月160円（1960年5月10日）



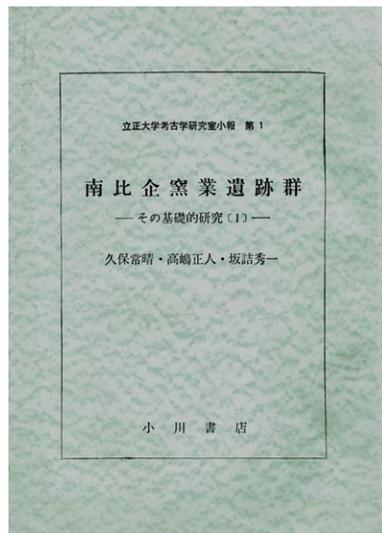
### 施設 香風学寮が廃止

老朽化に伴い香風学寮が廃止される。寮生は目黒高木町に新設された竹水寮へ移る（1960年6月11日）※写真は年代不詳

### 印刷物

## 『立正大学考古学研究室小報』が創刊

本学文学部考古学研究室により創刊された『立正大学考古学研究室小報』。創刊号は埼玉県比企郡の岩殿丘陵帯に分布する窯業遺跡群がテーマ（1961年4月30日）



1962

1963

- ・ 1962年 8月 4日 「週刊 TVガイド」が創刊
- ・ 1962年 10月 22日 キューバ危機(米ケネディ大統領による海上封鎖)
- ・ 1963年 4月 22日 「女性セブン」が創刊
- ・ 1963年 11月 22日 米ケネディ大統領暗殺事件



学生生活

### 校庭での朝礼風景

当時の朝礼の様子。学生たちの正面には新館(旧2号館)と中学校舎(1962年)

イベント

### インド救ライ支援 関東学生大会が開催

インドのライ病患者救済を支援するため、本学中央委員会主催のインド救ライ支援関東学生大会が開催、インド大使が来校(1962年5月22日)



施設 図書閲覧室を増築

仏教学部の学生研究室兼自治会室であった建物を図書館閲覧室へとリノベーション(1963年5月13日)

1964

- ・ 1月1日 「かっぱえびせん」が販売開始
- ・ 4月1日 日本人の海外渡航自由化
- ・ 10月3日 日本武道館が開館
- ・ 10月10日 東京オリンピックが開会（11月8日は東京パラリンピックが開会）

イベント

### 池上学寮10周年記念祭

池上学寮開寮10周年の記念祭を挙げる。池上学寮は池上本門寺山内にあり、200坪を超える敷地に約60名の学生が起居（5月4日～5日）



人物

### 石橋湛山学長に栄えの叙勲

石橋湛山学長に勲一等旭日大綬章が授与される（4月29日）

施設

### 熊谷キャンパス建築用地の整地を開始

熊谷地区に約10万坪の大学用地を取得、整地にとりかかる（10月）



1965

- ・ 2月1日 「オロナミンC」が販売開始
- ・ 4月3日 黒澤明監督の映画『赤ひげ』が公開
- ・ 8月9日 シンガポールがマレーシアより分離、共和国として独立
- ・ 10月2日 朝永振一郎がノーベル物理学賞を受賞



施設

### 熊谷校舎教養部創設 事務所を開設

立正大学大崎校舎柔道場（軽量鉄骨造）を解体し熊谷に移築、熊谷校舎教養部創設事務所として再使用（9月）

施設

### 大崎校舎正門が竣工

大崎校舎の正門が竣工（10月1日）※設計を手掛けた前田健二郎氏はこの年5月22日に日本芸術院賞を受賞



施設

### 大崎校舎旧3号館が竣工

大崎校舎旧3号館が竣工、図書館および4階に礼拝堂兼教室が設けられ、法要行事などに用いられる（11月30日）

1966

- ・ 3月31日 日本の人口が1億人超え
- ・ 5月15日 『笑点』が放送を開始
- ・ 6月22日 三里塚闘争(成田闘争)が始まる
- ・ 6月29日 ビートルズが来日



施設

### 熊谷キャンパスに有隣館が移築

熊谷市箱田地区の名家であった「西の斎藤家」の建物を譲り受けてキャンパスに移築、一部改修の上、教職員宿舎として利用された(2月1日)

施設

### 槇文彦設計の校舎が着工

熊谷キャンパスに短期大学A・B館が竣工(3月25日)。6月より第II期工事が始まり、槇文彦設計の教室棟、体育館、学寮等の建設が始まる(写真は翌年竣工した教室棟と福利厚生棟)※槇文彦氏は代官山ヒルサイドテラス、幕張メッセ、テレビ朝日本社ビルなどの設計でも知られる



イベント

### 自動車部の救ライ運動

本学自動車部は「インド救ライ募金 沖縄・西日本一周の旅」に出発、約1カ月かけて1万枚のチラシを配り、ライ病の悲惨さと救済を訴えた(3月13日～4月11日)※写真は鹿児島駅前募金活動の様子

1967

- ・ 6月27日 英銀行に世界で初めて現金自動預払機が設置
- ・ 7月14日 「リカちゃん人形」が発売される
- ・ 8月3日 公害対策基本法が公布
- ・ 10月18日 英モデルのツイッギーが来日（ミニスカートブーム）

イベント

熊谷キャンパスで  
初めての大学入学式

熊谷分校体育館において熊谷  
キャンパスで最初の入学式を挙  
行（4月12日）



人物

ネパール王国皇太子来校

ネパール王国皇太子が来校、久保  
田正文立正大学学監による「日本に  
おける社会福祉と仏教精神につい  
て」の講義を受講（5月10日）

学生生活

学生運動を伝える  
NHKのテレビ放映

学生運動の気運が高まる中、「立正  
大学でも学生が教室を占拠」とNHK  
でテレビ放映（5月ごろと推定）



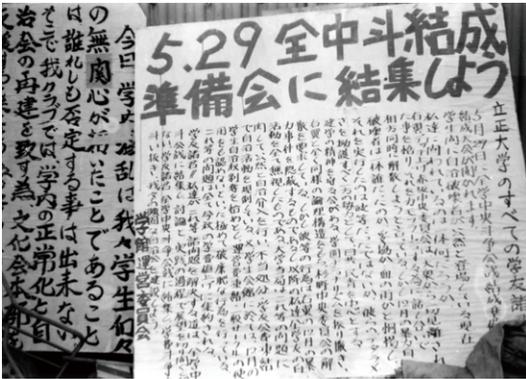
1968

1969

- ・1968年 4月 4日 マーティン・ルーサー・キング Jr.が暗殺
- ・1968年 7月 1日 郵便番号制度が実施
- ・1969年 11月 10日 米TV番組『セサミストリート』が放送開始
- ・1969年 11月 21日 日米首脳が共同声明を発表（沖繩返還を約束）

学生生活 学生運動風景①

本学に限らず日本中で学生運動が盛んだった時期、大崎キャンパス（現・品川キャンパス）での学生運動の様子（1968年ごろ）



学生生活 学生運動風景②

「全学中央闘争会議結成」を呼びかける立て看板（1968年5月29日ごろ）

イベント

立正大学保育専門学校の開校式・入学式

熊谷キャンパスに保育専門学校が開校、全国から178名が入学（1969年4月20日）



## 日本・世界の出来事

1970

1971

- ・ 1970年 3月 5日 核拡散防止条約が発効
- ・ 1970年 3月 31日 日本航空よど号ハイジャック事件が発生
- ・ 1971年 6月 17日 日米間で沖縄返還協定が調印
- ・ 1971年 10月 1日 米でウォルト・ディズニー・ワールド・リゾートが開園



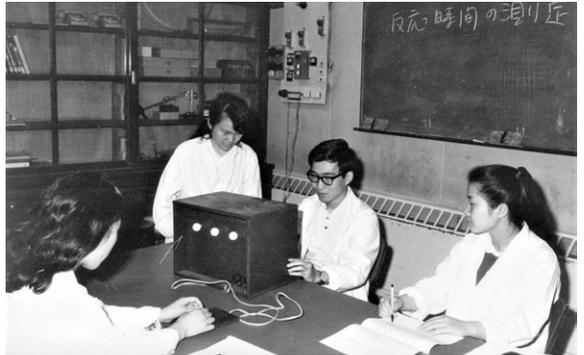
### 施設

#### 当時の大崎キャンパス

当時の大崎キャンパス(現・品川キャンパス)の様子。左から中高校舎、2号館、本館、3号館、5号館、学生会館(1970年ごろ)

### 学生生活 心理学実験実習

心理学実験実習の様子。黒板に「反応時間の測定」とある(1970年ごろ)



### 人物

#### 英国の東洋学者 H. W. ベイリー卿が来訪

ケンブリッジ大学で教授を務めたハロルド・ウォルター・ベイリー博士が法華経文化研究所を訪問。博士はイギリス学士院フェロー、ナイトの爵位を持つ(1971年)

1972

1973

- ・1972年 2月19日 あさま山荘事件が起こる
- ・1972年 3月1日 ローマクラブが『成長の限界』を発表
- ・1973年 3月29日 ベトナム戦争から最後の米軍兵士が撤退
- ・1973年10月1日 新構想大学である筑波大学が開学



#### 施設 熊谷に立正幼稚園を開園

立正大学に併設された保育専門学校付属幼稚園として熊谷に開園、2022年に創立50周年を迎える(1972年4月1日)

#### イベント

### 立正大学郵政会入会式

本学郵政会の入会式の様子。郵政会は郵政行政に関する問題を理論的・実証的に研究し、郵政事業の発展に寄与することを主目的とする(1972年)



#### 施設

### 田中啓爾文庫 (地理学関係図書)を設置

田中啓爾教授が収集した地図類や稀覯本を「田中啓爾文庫」として熊谷キャンパス図書館に架蔵(1973年11月)

※写真は田中啓爾教授

1974

1975

- ・ 1974年 8月 9日 米ニクソン大統領がウォーターゲート事件で辞任
- ・ 1974年 10月 14日 長嶋茂雄選手(東京読売巨人軍)が引退
- ・ 1975年 4月 5日 『秘密戦隊ゴレンジャー』(スーパー戦隊シリーズ)が開始
- ・ 1975年 4月 30日 ベトナム戦争が終結

施設

### 熊谷キャンパスの サークルボックスを閉鎖

熊谷キャンパスの課外活動拠点であるサークルボックスが、学生間の対立による乱闘事件により閉鎖(1975年1月22日)



施設

### 奈良立正女子美術学院が 廃止

1966年に創立された奈良立正女子美術学院が廃止される(1975年7月16日)

部活・サークル活動

### サッカー部が強化クラブに認定

サッカー部が立正大学学園および立正大学から強化クラブに認定される(1975年)



1976

1977

- ・1976年 2月 4日 ロッキード事件が発覚
- ・1976年 9月 9日 中国の最高指導者、毛沢東が死去
- ・1977年 4月 15日 『コロコロコミック』が創刊
- ・1977年 12月 25日 チャールズ・チャップリンが死去

施設

### 当時の大崎キャンパスの様子

中庭が整備され、池と噴水があった。奥には5号館と学生会館(1976年ごろ)



### イベント 池上本門寺での御会式

日蓮聖人の命日(10月13日)に合わせて行われる法要「御会式」に参加する学生たち(1977年10月11日)

部活・サークル活動

### 排球部の試合風景

1964年創部の排球部の試合の様子(1976年ごろ) ※1964年は東京オリンピックが開催、女子バレーボール「東洋の魔女」がバレーボールブームを巻き起こす



1978  
|  
1979

## 日本・世界の出来事

- ・1978年 5月20日 新東京国際空港（成田空港）がオープン
- ・1978年 8月12日 日中平和友好条約が調印
- ・1979年 1月13日 第1回の大学共通一次試験が実施
- ・1979年 5月4日 英サッカーが首相に就任



### 部活・サークル活動

## 当時の拳法部の様子

1949年創部の拳法部の様子（1978年ごろ）※日本拳法は警察の逮捕術にも取り入れられている総合格闘技

### 施設 立正大学水準点

地理学科に測量士補講座があることから、勉学の一助になればと大崎キャンパス測量の折に中庭噴水のほとりに設置。頂上に埋め込まれた半球の最頂部が海拔20.297mでこれを本学の水準点と定めた（1979年）



### 施設

## 熊谷キャンパスに図書館が開館

熊谷キャンパスに待望の図書館が開館（1979年9月21日）※建設用地から多くの土器（6世紀）が発掘されたため着工が少し遅れる

1980

1981

- ・1980年 9月22日 イラン・イラク戦争が勃発
- ・1980年10月15日 山口百恵が引退
- ・1981年 4月12日 米スペースシャトル・コロンビアの初打ち上げ
- ・1981年 4月22日 マザー・テレサが初の来日

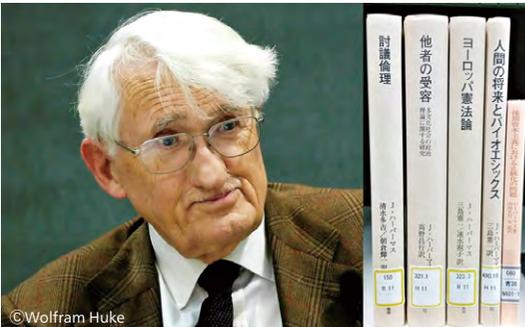


施設 **八ヶ岳研修所が開設**

山梨県八ヶ岳高原に研修所が開設。スイスの山小屋をイメージして建てられたこの施設は美しい白樺林に囲まれている(1980年4月24日)

学生生活 **当時の五反田駅界隈**

民営化前、国鉄時代の五反田駅前(1981年ごろ)



人物

**独の哲学者ハーバーマスの講演会を開催**

独の哲学者、ユルゲン・ハーバーマス氏の公開講演会・公開討論会が大崎キャンパス(現・品川キャンパス)で開催(1981年10月7日)※写真はハーバーマス氏とその著書の一部

1982

1983

- ・ 1982年 4月 2日 フォークランド紛争が勃発
- ・ 1982年 12月 4日 映画『E.T.』が日本で公開（当時の興行収入記録を達成）
- ・ 1983年 4月 4日 NHKの連続テレビ小説（ドラマ）『おしん』が放送開始
- ・ 1983年 7月 15日 任天堂が「ファミリーコンピュータ（ファミコン）」を発売

施設

### 短期大学部教室棟が落成

外観の曲線が特徴的な短期大学部の新教室棟（C館）が熊谷キャンパスで落成。設計は大崎校地第II期工事を担当した椎名政夫建築設計事務所（1983年2月26日）



施設

### ゴルフ練習場が完成

熊谷キャンパスの南端に打席数15のゴルフ練習場が完成、授業やサークルで利用される（1983年3月31日）※写真は当時のゴルフ部の様子

部活・サークル活動

### 当時の射撃部

1970年創部の射撃部は、ピームライフルから免許が必要な空気銃、火薬銃を扱う標的射撃を行う（1983年ごろ）



1984

1985

- ・1984年 2月12日 植村直己が米マッキンリーの単独登頂に成功
- ・1984年 10月25日 オーストラリアから6頭のコアラが日本に贈られ、ブームに
- ・1985年 3月11日 ゴルバチョフがソビエト連邦共産党書記長に就任
- ・1985年 3月17日 国際科学技術博覧会（つくば万博）が開催

施設

### 福利厚生棟ステラが竣工

熊谷キャンパスに3階建ての福利厚生棟ステラが竣工、食堂・売店・喫茶・学生ラウンジが入る（1985年3月13日）



イベント

### 立正大学文学部が創立60周年

立正大学文学部が創立60周年を迎え、その歴史や現況を紹介した『六十年の軌跡』を出版し全学生教職員に配布（1984年5月17日）※写真は『六十年の軌跡』の中のもの

施設

### 情報処理センター 熊谷電算機室が開設

本学の情報処理センターは1983年に発足、学生の教育をはじめ研究、事務処理の分野まで支援するシステムを構築（1985年10月）※写真は熊谷キャンパスのホストマシン



1986

1987

- ・ 1986年 4月 1日 男女雇用機会均等法が施行
- ・ 1986年 4月 26日 ソ連にてチェルノブイリ原子力発電所事故が発生
- ・ 1987年 4月 1日 国鉄の分割民営化
- ・ 1987年 11月 29日 大韓航空機爆破事件が発生

イベント

### 白菊寮が20周年

熊谷キャンパスの女子寮である白菊寮が20周年を迎え、記念祭を実施(1986年7月27日)  
※写真は寮の部屋の様子



イベント

### 立正大学教養部が開設20周年

立正大学教養部開設20周年と立正大学北埼玉地域研究センター開設10周年を記念して「浮世絵に見る中山道と熊谷直実展」を八木百貨店にて開催(1986年10月1～6日) ※写真は浮世絵展の様子

イベント

### 大崎校地再開発計画第1期工事が完了

大崎校地(現・品川キャンパス)の再開発計画第1期工事が完了、中高本館校舎、体育館、武道棟、食堂棟が完成し、落成式と披露宴を挙行(1987年12月4日)



1988

1989

- ・1988年 2月10日 ファミコンソフト『ドラゴンクエストIII』が発売
- ・1988年 8月20日 イラン・イラク戦争が停戦
- ・1989年 1月7日 昭和天皇が崩御され、翌日から「平成」が開始
- ・1989年 6月4日 中国北京にて六四天安門事件が起こる



施設

### 学園プレート「立正大学学園」が正門から撤去

1965年の正門完成時より親しまれていた「立正大学学園」のプレートが正門から外される（1988年7月28日）

イベント

### 第57回立正大学公開講座が開催

第57回立正大学主催公開講座「宮沢賢治のころをよむ」「自然と人間共生の文明へ」が北海道旭川市の友愛会館で開催される（1988年9月18日）



イベント

### 新疆大学がシルクロード踏査隊を歓迎

立正大学・新疆大学が合同でシルクロード踏査隊を結成、新疆大学（中国）で歓迎を受ける様子（1989年7月28日）

1990  
|  
1991

## 日本・世界の出来事

- ・ 1990年 1月13日 大学入試センター試験が初めて実施
- ・ 1990年 10月 3日 西ドイツに東ドイツが編入される形で統一（ドイツ再統一）
- ・ 1991年 5月14日 横綱・千代の富士が現役引退
- ・ 1991年 12月26日 ソビエト連邦が崩壊

### 学生生活

#### 東京ドームで入学試験

東京ドームで文学部、経営学部、経済学部が入学試験を実施。以降3年間、東京ドームで入学試験が行われる（1990年2月8日～11日）



#### 施設 RISコーナーを開設

リス(Rissho Information Services)コーナーが大崎キャンパス(現・品川キャンパス)1号館にオープン。キャンパスカードを利用して成績や時間割の確認や証明書等が出せるようになる(1990年10月1日)

### 施設

#### 熊谷キャンパス8号館竣工

熊谷キャンパスの8号館(教育研究センター)が竣工。同センターには法学部研究室、法制研究所、法学部資料室もあり、法学部棟とも呼ばれる(1991年2月28日)



# 1992

- ・2月7日 マーストリヒト条約（欧州連合条約）が調印
- ・6月15日 PKO法が成立
- ・9月1日 「日清ラ王」が発売
- ・11月3日 首里城が復元（2019年に焼失）

## 施設

### 石橋湛山記念講堂が竣工

開校120周年記念事業の一環として大崎キャンパス（現・品川キャンパス）に3号館（教室棟）、福利厚生ラウンジ（トークパレット）、石橋湛山記念講堂が竣工（9月16日）



## イベント

### 記念事業完成奉告法要を厳修

完成したばかりの石橋湛山記念講堂にて開校120周年記念事業完成奉告法要が行われる（10月7日）

## イベント

### 記念式典および祝賀会を挙行

新高輪プリンスホテル（パミール館）崑崙の間にて開校120周年記念式典および祝賀会を開催（10月7日）



人物

## 英マーガレット・サッチャー 元首相が講演

開校120周年「立正フォーラム(ラウンド1)」の特別記念講演「我が教育観と大学生への期待」で登壇する英マーガレット・サッチャー元首相(10月17日)



イベント

## 第4回 飯高檀林コンサート

飯高寺境内において「第4回飯高檀林コンサート-檀林の森でふるりの心を見つけよう」が行われる(10月18日)



新制大学から文科系総合大学へ



立正大学学園開校120周年記念  
**祝 立正フェスティバル With 星霜祭・秋桜祭**  
11月1日～11月3日  
於 立正大学熊谷キャンパス 後援 熊谷市・熊谷商工会議所



イベント

## 熊谷駅の 「立正フェスティバル」 横断幕

熊谷駅の改札に掲げられた開校120周年記念「立正フェスティバル」の横断幕(11月1日～3日)※熊谷市や熊谷商工会議所から後援をいただきました

# 1993

- ・ 1月27日 大相撲の曙が史上初の外国人横綱に昇進決定
- ・ 6月9日 皇太子徳仁親王殿下と小和田雅子さまの結婚の儀
- ・ 8月9日 細川（護熙）連立内閣が誕生（55年体制の崩壊）
- ・ 11月1日 マーストリヒト条約により欧州連合（EU）が発足



## イベント

### 石橋湛山生誕110年 記念シンポジウム

立正大学・東洋経済新報社・経済倶楽部・石橋湛山記念財団主催の「立正大学フォーラム（ラウンド1）」にて、石橋湛山生誕110年記念シンポジウム「石橋湛山の行動と思想を現代に問う」を開催（6月18日）

## 部活・サークル活動

### 硬式野球部が躍進

東都大学野球秋季2部リーグで立正大学硬式野球部が優勝（10月19日）、入替戦を制して創部以来44年目にして念願の1部リーグへ初昇格を果たす（11月5日）



## 施設

### 熊谷校地第Ⅲ期工事上棟式

短期大学部研究棟とサークルボックスの上棟式を挙行（11月17日）※写真は短期大学部研究棟

1994

- ・ 5月6日 英仏海峡トンネルが開通
- ・ 5月10日 南アフリカ共和国でネルソン・マンデラが初の黒人大統領に
- ・ 10月9日 プロ野球イチロー選手がシーズン最多安打記録
- ・ 10月13日 作家の大江健三郎がノーベル文学賞を受賞

イベント

石橋湛山学長像の除幕式

石橋湛山記念講堂のホワイエに設置されたブロンズ胸像の除幕式が行われる。作者は彫刻家の藪内佐斗司氏(2月28日)



施設

軽井沢研修所が開館

長野県北佐久郡軽井沢町に軽井沢研修所が完成、竣工式が行われる(6月29日)



イベント

宮沢賢治  
国際シンポジウム開催

宮沢賢治国際シンポジウム「世界のなかの宮沢賢治」が仙台と東京で開催される(10月14日・15日)

# 1995

- ・ 1月17日 阪神・淡路大震災が発生
- ・ 3月20日 オウム真理教による地下鉄サリン事件が発生
- ・ 10月4日 テレビアニメ『新世紀エヴァンゲリオン』が放送開始
- ・ 11月23日 米マイクロソフトが「Windows 95 (日本語版)」を発売

## 人物

### ダライ・ラマ 14世が来校

ダライ・ラマ 14世が来校し、名誉博士号学位授与ならびに記念講演会を開催(4月5日)



## イベント

### ネパール仏教遺跡調査展と記念講演

ネパール仏教遺跡調査展「カピラ城跡を探る—ティラウラコット発掘30年の回顧」を大崎キャンパス(現・品川キャンパス)で開催(6月26日~7月15日)、併せて記念講演が行われる(7月1日)

## 学生生活

### ニュージーランド短期英語研修

石橋湛山記念基金助成第1回ニュージーランド短期英語研修を実施(7月27日~8月15日)※写真は結団式の様子



1996

- ・ 1月8日 テレビアニメ『名探偵コナン』の放送開始
- ・ 7月19日 アトランタオリンピックが開幕
- ・ 12月5日 広島原爆ドームが世界文化遺産登録
- ・ 12月17日 在ペルー日本大使館公邸占拠事件発生（翌年4月22日解決）

施設 白菊学寮を廃止

開寮以来多くの女子学生のキャンパスライフを支えた熊谷キャンパス白菊学寮が廃止（3月31日）



施設

ユニデンスが開設

熊谷キャンパスのユニデンス A館、C館（旧ドミトリー）が開設（4月1日）

施設

熊谷キャンパスの新食堂パドマ

サンスクリット語で「紅蓮華」を意味する新しい学生食堂パドマがオープン。高い天井と大きな窓の開放感ある空間で美味しい食事が楽しめる（4月3日）



# 1997

- ・ 2月22日 世界初のクローン羊(ドリー)開発の成功が判明
- ・ 7月1日 香港がイギリスから中国に返還
- ・ 7月26日 フジロックフェスティバルが初めて開催
- ・ 11月24日 山一証券が自主廃業を決定

## 施設

### ユニデンス B館が開設

完全個室の14階建て学生寮ユニデンス B館がオープン、A館と合わせて754室が稼働可能となり、自律した学生生活を支援(4月1日)



## イベント

### 卒業生を送る会

中庭で開かれた「平成9年度卒業生を送る会」の様子(3月)



## 人物

### 西武ライオンズ西口投手が母校に凱旋

西武ライオンズ・西口文也投手(平成7年法学部卒)が最高殊勲選手賞・沢村賞を受賞、熊谷キャンパス体育館で祝賀会が開催される(12月8日)

## 日本・世界の出来事

1998

1999

- ・ 1998年 5月27日 大相撲の貴乃花(弟)と若乃花(兄)が史上初の兄弟横綱に
- ・ 1998年 11月25日 中国の江沢民国家主席が日本を訪問
- ・ 1999年 5月19日 映画『スター・ウォーズ エピソード1』が公開
- ・ 1999年 12月31日 コンピュータにおける2000年問題



施設

### 地球環境科学部実験研究棟が完成

熊谷キャンパス3号館(地球環境科学部実験研究棟)が完成し、本学初の理系学部となる地球環境科学部が設置される(1998年4月1日)

施設

### 短期大学記念モニュメント

本年度をもって改組完了し、50年の歴史を閉じる立正大学短期大学の改組記念モニュメントが熊谷キャンパスに完成(1999年2月26日)



イベント

### 仏教学部創立50周年記念事業

仏教学部創立50周年記念の法要と、国際学術シンポジウム「仏教と環境」が開催(1999年11月11日)



「人間に関する総合大学」への新たな展開

2000  
|  
2001

## 日本・世界の出来事

- ・2000年 4月 1日 介護保険制度が施行
- ・2000年 10月 10日 白川英樹がノーベル化学賞を受賞
- ・2001年 1月 6日 中央省庁が再編(1府12省庁へ)
- ・2001年 9月 11日 米同時多発テロ事件が発生



### 施設

## 特別養護老人ホーム 「立正たちばなホーム」

立正大学が母体となって設立された社会福祉法人立正橋福祉会の特別養護老人ホーム「立正たちばなホーム」が熊谷キャンパス隣接地に開設(2000年1月1日)



### 組織

## ボランティア活動推進センターを 9号館に開設

社会福祉学部が立正大学社会福祉学部ボランティア活動推進センターを9号館に開設(2001年4月2日) ※写真はボランティアセンターによる東日本大震災時の募金活動

### 印刷物

## 『立正大学公開講座の歩み』刊行

昭和28年から約50年の間に開催された立正大学講演会、文化講座、公開講座を紹介する『立正大学公開講座の歩み』が刊行(2001年2月15日)



## 2002

- ・ 1月1日 EU(欧州連合)にて統一通貨ユーロの流通が開始
- ・ 4月1日 完全学校週5日制が開始
- ・ 5月31日 日本・韓国共同開催の2002FIFAワールドカップが開幕
- ・ 8月20日 新丸ビルが竣工



### 人物

#### 河合隼雄氏が基調講演

心理学部開設記念シンポジウム「21世紀は心の時代」が石橋湛山記念講堂で開催、河合隼雄氏(文化庁長官、心理学者)が基調講演を行う(1月26日)

### 施設

#### カウンセリングセンター開設

大崎キャンパス(現・品川キャンパス)2号館にカウンセリングセンター(現・心理臨床センター)を開設(4月1日)  
※写真は心理臨床センター



### 施設

#### 立正大学博物館が開館

熊谷キャンパスに博物館が開館、初代館長に坂詰秀一文学部教授が就任(4月1日)



2003

2004

日本・世界の出来事

- ・2003年 3月ごろ 中国にてSARS（重症急性呼吸器症候群）が大流行
- ・2003年 5月 9日 小惑星探査機「はやぶさ」が打ち上げられる
- ・2004年 10月 1日 イチロー選手がメジャーのシーズン最多安打記録を更新
- ・2004年 10月 23日 新潟県中越地震が発生

学生生活 シルクロード海外研修

仏教学部「地域仏教研究（海外研修、シルクロード）」を実施（2003年8月25日）



部活・サークル活動

拳法部創部50周年

拳法部創部50周年記念祝賀会を高輪プリンスホテルにて開催（2003年11月1日）



施設

総合学術情報センターが竣工

大崎キャンパス（現・品川キャンパス）11号館の総合学術情報センターが竣工（2004年1月21日）、落成式（同年2月21日）、利用開始（同年4月1日）

2005  
|  
2006

## 日本・世界の出来事

- ・ 2005年 2月15日 YouTubeが設立
- ・ 2005年 8月 8日 小泉首相による「郵政解散」
- ・ 2006年 7月17日 ジャワ島南西沖地震が発生
- ・ 2006年 11月11日 家庭用ゲーム機「プレイステーション3」が発売



### 施設

#### 学生食堂がリニューアル

熊谷キャンパス福利厚生棟およびユニデンスA・B館の食堂がリニューアルオープン(2005年4月)

### 施設

#### 熊谷グラウンドが人工芝に

熊谷キャンパスのラグビー場、サッカー場、陸上競技場が人工芝に一新。欧州のサッカーフィールドも使用する最先端の人工芝を使用(2005年5月22日)



### 施設

#### 9号館が完成

大崎キャンパス(現・品川キャンパス)9号館(当時、地上6階層中高使用、地下2階層大学使用)が完成。自然通風や自然採光を取り入れ環境負荷低減に配慮した室内空間と、緑と潤いのある壁面緑化の外壁が特徴(2006年1月23日)※現在はすべて大学が使用しています

2007  
|  
2008

日本・世界の出来事

- ・2007年 6月29日 iPhoneがアメリカで発売
- ・2007年 7月16日 新潟県中越沖地震が発生
- ・2008年 9月15日 リーマン・ショックが発生
- ・2008年 9月24日 麻生内閣が誕生



施設

5号館と6号館の  
改修工事が竣工

大崎キャンパス（現・品川キャンパス）5号館と6号館の改修工事（リモデリング工事）が竣工、5号館には大規模 AV 対応教室や少人数教育用のゼミ室などが備わる（2007年1月30日）



施設 新食堂とカフェラウンジがオープン

6号館は改修工事に伴い、1階に新食堂とB1階にカフェラウンジがオープン（2007年1月30日）

印刷物

『立正大学学園新聞』  
第100号

1953年の創刊以来、学内の様々なニュースを伝えてきた『立正大学学園新聞』が第100号を発行（2008年1月1日）



## 2009

- ・ 1月17日 ジンバブエがインフレで100兆ジンバブエ・ドル紙幣を発行
- ・ 1月20日 オバマが、第44代アメリカ大統領に就任
- ・ 2月22日 映画『おくりびと』が米アカデミー賞外国語映画賞を受賞
- ・ 8～10月 新型インフルエンザの流行拡大

### 施設

#### アカデミックキューブ、 スポーツキューブが竣工

熊谷校舎第1期工事 Aの19号館(アカデミックキューブ)と20号館(スポーツキューブ)が完成(3月2日)



### 組織

#### 「立正大学校友会」が発足

本学の発展と社会的認知の向上を目指し、卒業生、在校生、保護者、現・元教職員などからなる「立正大学校友会」が発足(4月1日)

### 部活・サークル活動

#### 硬式野球部が秋季 1部リーグにて初優勝

硬式野球部が東都大学野球連盟秋季1部リーグにて初優勝(10月28日)、続く明治神宮野球大会でも初優勝(11月20日)



# 2010

- ・ 1月4日 世界一の超高層ビルであるドバイのブルジュ・ハリファが開業
- ・ 6月13日 小惑星探査機はやぶさが地球に帰還
- ・ 7月23日 ノーラン監督の映画『インセプション』が日本公開
- ・ 9月7日 尖閣諸島中国漁船衝突事件が発生

## 施設 ゲートプラザが竣工

ゲートプラザなど熊谷再開発事業第1期工事Bが竣工(3月1日)、同(水景池・外溝工事)も竣工(6月末)



## イベント

### 立正大学のマスコット名が「モラリス」に

立正大学のマスコットキャラクターの名前が「モラリス」に決定(決定日は不明)※写真は「大学史料編纂室」のオープンキャンパス展示において、大学史を学ぶモラリス

## イベント

### 「第1回モラリス賞」表彰式

学術、文化、スポーツその他の分野において、立正大学の名を高めた方に授与される「モラリス賞」の第1回表彰式を開催(第1回はプロサッカー選手安英学氏が受賞)(10月26日)※写真は『立正大学学園新聞』第112号



2011

- ・ 1月20日 中国の国内総生産（GDP）が世界2位に
- ・ 3月11日 東日本大震災が発生
- ・ 4月1日 小学5・6年生の外国語活動（英語）の実施
- ・ 11月27日 大阪市長・大阪府知事が大阪維新の会に



**事件** 東日本大震災が発生

東日本大震災が発生。本学では大崎キャンパス（現・品川キャンパス）、熊谷キャンパスともに大きな被害はなかった（3月11日）

**学生生活**

**被災地支援ボランティア**

社会福祉学部ボランティアセンターと立正大学のバックアップにより、学生21名が東日本大震災の被災地支援ボランティア活動を気仙沼市で実施（4月30日～5月3日）



**イベント**

**グリークラブが  
チャリティーコンサート**

立正大学と米イェール大学のグリークラブが合同で東日本大震災チャリティーコンサートを石橋湛山記念講堂で開催（6月2日）



2012

- ・ 5月22日 高さ世界一の電波塔である東京スカイツリーが開業
- ・ 10月8日 山中伸弥がノーベル生理学・医学賞を受賞
- ・ 10月9日 パキスタンの人権運動家マララがタリバンに銃撃され負傷
- ・ 11月15日 中国共産党中央委員会主席に習近平が就任



学生生活

### 東日本大震災一周忌唱題行脚

本学仏教学部生有志が被災地(仙台市若林区)で東日本大震災一周忌唱題行脚を行う(3月11日)

人物

### 竹内洋岳氏 8,000 m峰 全14座の完全登頂

登山家・竹内洋岳氏(本学仏教学部卒業生)が日本人初の8,000 m峰全14座の完全登頂に成功(5月26日)



学生生活

### 立正大学国際交流会(IEA)

学内外の国際交流活動を目的として2009年に発足した立正大学国際交流会(IEA=Rissho Student International Exchange Association)の活動風景(2012年ごろ)

イベント

## 石橋湛山展開催

立正大学学園主催・石橋湛山記念財団共催・開校140周年記念企画展「第16代学長石橋湛山展」が石橋湛山記念講堂ホワイエで開催(10月1日～31日)



イベント

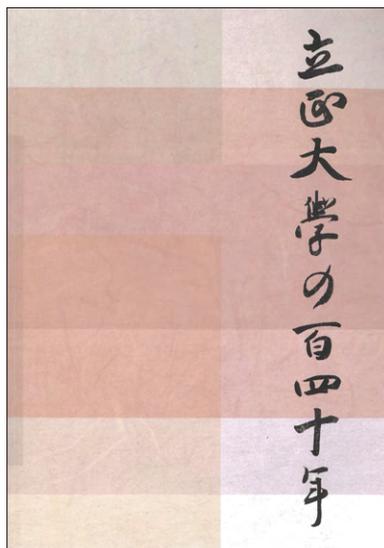
## 開校140周年記念シンポジウム開催

立正大学開校140周年記念国際シンポジウム「いま、日本を考える」を石橋湛山記念講堂で開催(10月13日)

印刷物

## 『立正大学の百四十年』を刊行

立正大学史料編纂委員会が『立正大学の百四十年』(開校140年史)を刊行(12月17日)



# 2013

- ・ 3月13日 ブエノスアイレス出身のフランシスコが第266代ローマ教皇に選出
- ・ 4月4日 安倍政権の経済政策「アベノミクス」が始動（日銀が量的緩和を決定）
- ・ 6月22日 富士山が世界文化遺産に登録
- ・ 9月7日 2020年夏季オリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定

## 施設

### 立正中高が馬込キャンパスへ

立正大学附属立正中学校・高等学校が大崎キャンパス（現・品川キャンパス）より馬込キャンパス（大田区西馬込）へ移転（4月1日）



## 立正大学学術機関リポジトリ

RISSHO UNIVERSITY'S INSTITUTIONAL REPOSITORY (RISSHO-IR)



## 施設

### 「立正大学学術機関リポジトリ」開設

情報メディアセンター（現・図書館）が「立正大学学術機関リポジトリ」を開設。大学の学術研究成果を収集・蓄積・保存し、広く公開する（10月）※画面は2022年現在のもの

## 施設

### 大崎キャンパス改修工事完了

大崎キャンパス（現・品川キャンパス）の8号館と9号館の改修工事が竣工。中高グラウンドは学生が集える憩いの空間「学生広場」へ生まれ変わる（11月末）



# 2014

- ・ 3月18日 露プーチン大統領がクリミア自治共和国の併合を宣言
- ・ 4月1日 消費税率が5%から8%に引き上げ
- ・ 6月29日 過激派組織「イスラム国 (IS)」が国家樹立を宣言
- ・ 9月27日 御嶽山(長野県・岐阜県)噴火(戦後最悪の火山災害)



## 施設

### 「品川キャンパス」へ改称

大崎キャンパスの名称を「品川キャンパス」へと変更。総合大学として多様な可能性を広げ、さらなる飛躍を目指す(4月1日)

## 施設

### 古書資料館が開館

品川キャンパス8号館地下1階に古書資料館が開館、明治以前の和古書や特殊資料(卷子本・折本・刷本・函物等)などを所蔵する(4月8日)



## 施設

### 7号館に新しい学生食堂

7号館に品川キャンパスで2つ目となる学生食堂がオープン、座席数は300席を超え、栄養バランスの取れた食事を提供(6月23日)

2015

- ・ 1～11月 世界各地でイスラム過激派のテロが起こる
- ・ 4月11日 米とキューバの首脳がキューバ革命後59年ぶりに対談
- ・ 10月5日 マイナンバー法施行
- ・ 10月11日 ラグビーW杯2015イングランド大会で日本代表が歴史的3勝



学生生活

### All English 科目が開設

語学教育の充実とグローバル化を目的とし、英語で授業を行うAll English科目が文学部に開設。全学部の学生と留学生にも開放される(4月から)

施設

### 図書館学修スペース 「RiLLPort」

品川キャンパス6号館地下1階ラウンジスペースが、図書館学修スペース「RiLLPort(りるぽーと)」としてリニューアルオープン(9月24日)



イベント

### 立正大学第100回記念 公開講座

立正大学公開講座の第100回を記念して「石橋湛山—21世紀に息づく不屈のスピリット」を石橋湛山記念講堂にて開催(10月22日)

2016

2017

## 日本・世界の出来事

- ・ 2016年 4月14日・16日 熊本地震が発生
- ・ 2016年 6月23日 イギリスが国民投票で欧州連合(EU)離脱を決定
- ・ 2017年 1月20日 トランプが第45代の米大統領に就任
- ・ 2017年 5月14日 マクロンが史上最年少で仏大統領に就任

### イベント

#### 「立正大学ベスト・クラス賞」

質の高い授業の実践を評価する「立正大学ベスト・クラス賞」。第1回授賞式が品川キャンパスで実施(2016年3月25日)



### 学生生活

#### 立正大学 オリジナル日本酒の完成

榎田酒造株式会社と本学の学生が商品企画し、立正大学オリジナル日本酒を完成(2017年10月15日)

### イベント

#### 熊谷キャンパス開設 50周年記念

熊谷キャンパス開設50周年を記念して、記念式典と特別講座「地方創生と大学の役割」を開催(2017年11月26日)



「人間に関する総合大学」への新たな展開

2018

2019

## 日本・世界の出来事

- ・2018年 6月12日 史上初の米朝首脳会談
- ・2018年 6月29日 働き方改革関連法が成立
- ・2019年 5月1日 皇太子徳仁親王が天皇に即位、「令和」に改元
- ・2019年 9月20日 ラグビーワールドカップ2019日本大会開幕、初の8強

### 部活・サークル活動

## 硬式野球部が全国制覇

本学硬式野球部が東都大学野球秋季1部リーグの優勝決定戦で勝利して優勝、続く明治神宮野球大会も優勝を果たし、9年ぶりに大学野球日本一に(2018年11月14日)※写真は東都大学野球秋季1部リーグの優勝決定戦の駒澤大学戦



### イベント

## 立正大学学園のシンボルマークが制定

1つのRから一回り大きいRが生まれる形状の新しいシンボルマークが決定。本学の未来への躍進と、より広い社会へとつながっていく学園の意志を表現(2018年10月)

### 部活・サークル活動

## サッカー部が初の全国大会でベスト8

体育会サッカー部が、全日本大学サッカートーナメントと全日本大学サッカー選手権大会に創部初の出場、いずれもベスト8となる大健闘(2019年9月3日、12月16日)



2020  
|  
2021

## 日本・世界の出来事

- ・ 2020年 1月31日 英国がEUを離脱
- ・ 2020年 3月13日 新型コロナウイルス対策の特別措置法が成立
- ・ 2021年 2月17日 日本で新型コロナワクチン接種が開始
- ・ 2021年 7月23日 東京2020オリンピックが開幕



### 事件 コロナで変わる学生生活

新型コロナウイルス感染症の予防対策として、入構制限、授業開始の延期、授業のオンライン化等の措置がとられる(2020年4月)

### 部活・サークル活動

## 陸上競技部、箱根駅伝予選会に

本学150周年記念事業の一環として創設された陸上競技部駅伝部門が、箱根駅伝(東京箱根間往復大学駅伝競走)予選会に出場、全員が自己最高記録で完走(2021年10月17日)



### 施設

## 「150周年記念館」が竣工

街と大学をつなぐ品川キャンパスの新たな玄関口として「150周年記念館(13号館・新6号館)」が完成。13号館には多目的ホールやギャラリー、6号館には新設されたカフェと食堂が入る(2021年2月17日)

# 立正大学の歴史を物語る多様なモニュメント

長い歴史を誇る本学には、様々な年代の多様なモニュメントが存在します。その背景を知り、あらためて眺めてみると、普段とは異なった趣を感じることができるかも知れません。数多くあるモニュメントの中からその一部をご紹介します。



## アショカ・ピラー

設置場所：正門(品川キャンパス)

建学の精神が刻まれた正門の獅子頭四本柱。柱の上の獅子は背中合わせに四方へ視線を向けています。獅子頭はアショカ王(古代インド・マウリア朝の第三代王)の石柱のレプリカで、本物はインドのサルナート博物館に所蔵されています。

## プラプータ・ラトナ(多宝塔)

設置場所：4号館前の中庭(品川キャンパス)

釈迦の生涯を線刻したブロンズモニュメント。彫刻家・石塚明夫氏の手による作品です(線刻画は本学文学部講師、橋岡明男氏)。階下の石橋湛山記念講堂に安置されている「久遠のみほとけ」の本尊の真上に設置されています。



## 日蓮聖人像

設置場所：6号館地下1階(品川キャンパス)

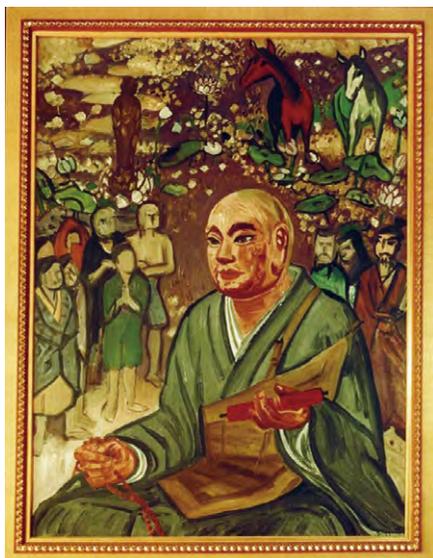
150周年記念事業の一環として製作、2021年2月17日に除幕式が行われました。日蓮聖人は本学園創立の淵源である日蓮宗の開祖であり、立正大学の名前は、日蓮聖人が著した『立正安国論』が由来となっています。



## 石橋湛山先生之像

設置場所：中庭  
(品川キャンパス)

150周年記念事業の一環として製作、2021年2月17日に除幕式が行われました。1952～1968年の長きにわたり学長(第16代)を務め、本学の教育研究の充実に尽力されました。品川キャンパスのほか、熊谷・馬込(中学・高等学校)キャンパスにも設置されています。2019年に第75回日本芸術院賞を受賞された池川直鹿児島大学教授の作です。



## 「日蓮聖人像」

設置場所：石橋湛山記念講堂ホワイエ  
(品川キャンパス)

石橋学長の依頼により洋画家・野口弥太郎氏が作成されました。1959年秋の東京都美術館で開催された「独立展」に展覧ののち、石橋学長より立正大学に贈られました。骨太の筆触と大胆な空間構成が目を引き一作です。



## 「炎のごとく華のごとく」

設置場所：石橋湛山記念講堂・階段壁面  
(品川キャンパス)

東京芸術大学名誉教授であり、2000年に文化功勞者に選ばれた洋画家・野見山曉治画伯の原画を7.3m×4.2mに拡大したモザイク画です。大きな炎が燃え盛る様子力が強く、また華のように美しく描かれています。



## 久遠のみほとけ

設置場所：石橋湛山記念講堂・壇上の大扉内陣  
(品川キャンパス)

久遠実成の釈迦牟尼世尊を中央に、上行菩薩、無辺行菩薩、浄行菩薩、安立行菩薩の四大菩薩が随侍しています。釈迦牟尼世尊座像は仏教彫刻の泰斗・円鋸勝三氏(文化勲章受章)、四菩薩像は彫刻家・信太司氏の作品です。



## 百万塔陀羅尼

設置場所：1号館4階第7会議室(品川キャンパス)

称徳天皇の勅願により764年に制作された百万基の小塔のうちの一基。有志により奉納されました。残存する塔はわずか。相輪部の底に柄穴が穿たれ、陀羅尼の経が収められています(制作年が明確な現存最古の印刷物です)。



## 石灯籠

設置場所：中庭(品川キャンパス)

春日型灯籠。「明治四十二年五月寄附主沖日透」と刻されています。旧1号館前など何度も設置場所を変えながら、現在の場所に鎮座しています(沖日透聖人は浅草日隈本覚寺第三十二世で、次男の沖鳳亀上人は立正大学学園理事長、立正大学同窓会長を歴任)。



## 橘(樹木・碑)

設置場所：1号館入口(品川キャンパス)

立正大学を象徴する樹「橘」。大正年間、京都御所再建の設計にあたった辰野金吾博士のご縁により、御所の橘が分枝されました。分枝された橘は昭和20年空襲により焼失しましたが、戦後有志の手によって再植され、その子孫が今も学内に生育しています。

「学園歌」  
意気高し谷山ヶ丘の  
立正ぞ我らの誇  
橘のさやけき花を  
もろともにも香らさんかな  
明日の春 明日の春  
額に汗して待つを知る  
清若き者に幸よあれ



### 「天晴地明」

設置場所：13号館ロータスホール入口  
(品川キャンパス)

日蓮聖人御遺文『観心本尊抄』(文永10年/1273年)の語「天晴地明」(天晴れぬれば地明らかなり)を、本学卒業の書家・星弘道氏(龍寶書道会主幹、日展理事、芸術院会員)が書にされました。



### 恋ガラス

設置場所：アカデミックキューブ正面  
(熊谷キャンパス)

熊谷キャンパス総合計画の設計を担当した横文彦総合計画事務所の依頼を受け、彫刻家・流政之氏が1967年に創作したものです。独特な響きを持つ作品名と、石の直彫りとその素材を活かした磨きに特色があります(写真は設置当初のもの)。



### 空の刀

設置場所：図書館前(熊谷キャンパス)

1979年9月の図書館完成を記念して、橘父兄会から寄贈されました。上部ステンレスは表面が鏡面仕上げで空を切り取るように上景を映し出し、1本足の下部は緊張感をもたらします。埼玉県出身の彫刻家・関根伸夫氏の手によるものです。



### 短期大学改組記念モニュメント

設置場所：憩いの広場(熊谷キャンパス)

立正大学短期大学部の改組を記念して、通称“哲学の森”の「憩いの広場」に記念碑・時計塔・銘板を設置しました。立正大学短期大学部は1950年に大崎キャンパスに誕生し、1966年以降熊谷へ移転、1999年3月31日に改組が完了しています。

## 立正生の「知りたい」をかなえる図書館

本学に待望の図書館ができたのは大正15(1926)年でした。それから約100年、情報のデジタル化により図書館は様変わりし、印刷資料と電子資料の両方を統合して利用できるハイブリット図書館へと生まれ変わっています。立正生の知的好奇心を満たし、創造と学びの体験を手厚く支援する存在であることは、今も昔も変わりありません。



大正15年竣工の図書館



図書閲覧室(竣工当時)



図書館利用案内と帯出票(昭和30年代)



昭和43年竣工の図書館





熊谷図書館(昭和54年竣工)



集密書架



開設当時(2004年)の大崎情報メディアセンター  
(現・情報環境基盤センター)



開設当時(2009年)の熊谷情報メディアセンター  
(現・オープン端末室)

## 立正生が起居を共にし勉学に励んだ学寮

学寮は本学の淵源である飯高檀林にも存在し、近代教育制度下に入ってからには日蓮宗大学寄宿舍や香風学寮が構内にありました。戦後、新制大学になって以降は、池上本門寺山内の池上学寮、旧品川宿の遊郭建築を転用した品川第一・第二学寮、大学近隣の橘学寮(女子寮)などが設置されました。1960年代後半になると、熊谷キャンパス内に白菊学寮(女子寮)と新生学寮が、周辺には25件を超える民間委託学寮が営まれ、立正生の生活を支えていました。



池上学寮



橘学寮



品川第一・第二学寮



寮生手帖(1963年)



白菊学寮



新生学寮



熊谷学寮生



ユニデンス (1985年竣工)



竹水学寮



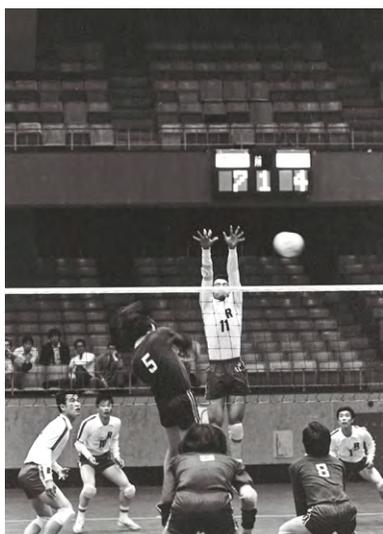
ユニデンス (1996年竣工)

## 歴史ある部活・サークル活動の紹介

学生生活を彩ってきた歴史ある部活・サークルを当時の写真で紹介していきます。



ラグビー部



排球部



弓道部



剣道部



ヨット部



ゴルフ部



ボディビル部



児童文化研究部



グリークラブ



アイスホッケー部



茶道部



籠球部



スキー部



器械体操競技部



フォークソング部



空手部



スキン・ダイビング部



社交ダンス部



山岳部



写真部



アメリカンフットボール部



硬式野球部



自動車部



書道部

# 充実したキャンパスライフ

学生生活で興味深いと思われる写真を集めてみました。年代や内容が正確でないものばかりですが、お楽しみいただけたらと思います。



青空の下のゼミ



パドマ



授業が始まる前



トークパレット



キャンパスでの立ち話





掲示板



学部掲示板



中庭の噴水



ギター片手の休憩時間



福利厚生棟の床屋で散髪



校庭での語らい



ダンスパーティ

## 大学生生活を華やかに彩る橘花祭・星霜祭・秋桜祭

大学生生活の貴重な1ページである学園祭。立正大学では、橘花祭(品川キャンパス)と星霜祭(熊谷キャンパス)が例年開催されています。短期大学があったときには秋桜祭も実施されていました。橘花祭は2021年度で通算56回、星霜祭は33回を数えます。秋桜祭は1998年に16回目を最後として終了しました。





## 熱戦を繰り広げた体育祭

立正大学では、体育行事を含んだイベントが、日蓮宗大学時代から開校記念日に行われた式典の中で同時に開催されてきました。以下の写真は、1967年から大学体育会主催で行われることになった第1回体育祭以降の写真です(2007年の第41回まで記録があります)。



# 時代が反映された様々なイベント

本学では、いろいろなイベントが行われてきました。その中から興味深い写真をご紹介します。



第6回印度学仏教学会



第3回仏教英語弁論大会



第16回日蓮宗教学研究発表大会(1963年)



第5回学内珠算競技大会



第7回石橋湛山杯争奪全日本高等学校弁論大会(1966年)



第5回国際地域学会世界大会(1996年)



立正大学公開講座



仏教系大学野球選手権大会

## 無声モノクロ映画『立正大学・立正中学』

1926(大正15)年11月11日に松竹キネマによって撮影され、翌1927(昭和2)年に大学へ寄付されたもの。撮影当日は日蓮宗管長・酒井大僧正が参観され、校内の様子がくまなく収められました。日蓮宗宗務院社会課写真班がこれを各地出張の際に映写し宣伝したという記述が、1927(昭和2)年2月1日に発行の『日宗新報』1573号に見られます。



宗務院各部長



学校教職員



庭球部



陸上競技部



教練



校旗

## かつての同窓会と立正大学校友会

「立正大学校友会」は在学生とその保護者・卒業生・現元職員が会員となり、構成団体として同窓会・橘会・郵政会を包括する組織です。2009年に発足して以来、立正大学の発展のために数多くのご協力をいただいています。在学中のみならず卒業してからも立正の一員であることを実感していただける「ホームカミングデー」等のイベントも開催されています。



校友会創設10周年記念式典の様子



立正大学校友会報『たちばな』



同窓会全国総会（中央は石橋湛山学長）



同窓会総会

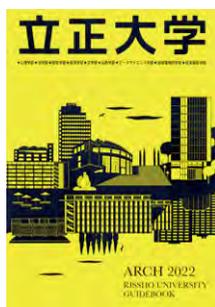
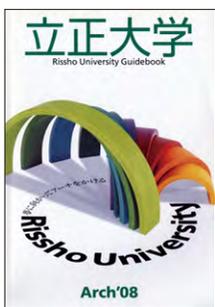
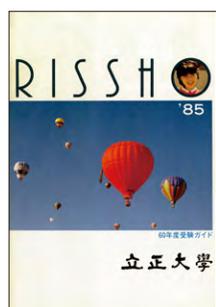


同窓会の後援を受けて開催される地方の公開講座  
(写真は1988年「第57回立正大学旭川市公開講座」)

# 緊張感の伝わる入学試験の様子と、 時代を感じる大学案内

入学試験に関する写真と大学案内を集めてみました。時代をよく表しているのではないのでしょうか。

## 大学案内



# 入学試験百景



入学試験風景 (1969年)



入学試験合格発表：昔は貼り出していました (1969年)



東京ドーム入試 (1992年2月7日・8日)



入学試験合格発表 (1996年)



入試展：複数の大学が集まって全国で開催されました (写真は1964年11月6日～11日に広島市の百貨店で開催された入試展の様子)



オープンキャンパス (2005年)

# 新入生を歓迎する入学式

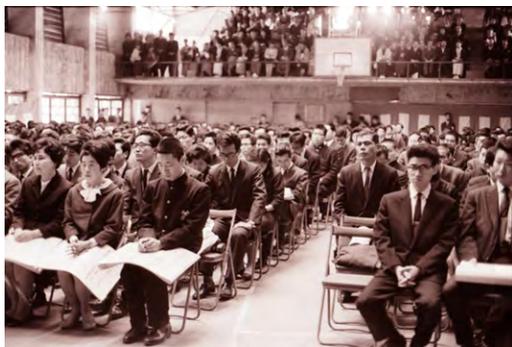
本学の入学式の様子です。これから始まる大学生活の、晴れやかな1日目です。





## 様々な場所で行われた卒業式

本学の卒業式は、学内の講堂をはじめ、これまで渋谷公会堂、ゆうぼうと、大宮ソニックシティ、東京国際フォーラム、大田区体育館など、様々な会場で実施されています。





# 航空写真で見るキャンパスの移り変わり

品川・熊谷両キャンパスと共に、周辺の風景の移り変わりもご覧ください。

## 品川キャンパス



右中央に大学本館(旧1号館)、その下に図書館、中央に辰野博士の中高校舎、その上に講堂、奥に柔剣道場が見られます。左の坂道が峰原坂で、住宅地に囲まれているのが見て取れます



大学本館に並んで、鉄筋の新館(第一期工事)と中高校舎が見られます

1934

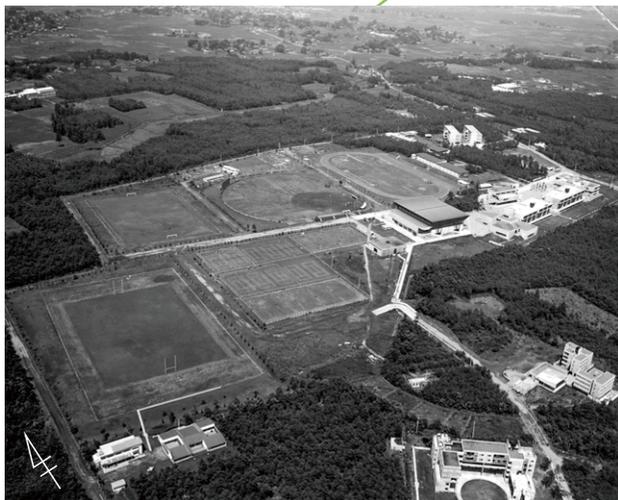
1956

1967

## 熊谷キャンパス

右下に新生学寮と白菊寮、右上に教養棟・教室棟、その左手に体育館と複数のグラウンドがあります。周辺には森や野原が広がっています

### 建設前の風景



山手通りに150周年記念館が完成。周囲にはマンションやオフィスビル、大崎警察署の建物などがあります



正門の上にプールがあった時代です。右手前に学生会館、その奥に図書館や3号館が見られます。中央の4号館は1966年竣工で、現在も変わっていません



1990



中央付近に福利厚生棟ステラがあるのがわかります。右下には曲線が特徴的な旧8号館があり、周囲には住宅が立ち並んでいます

2020

2021



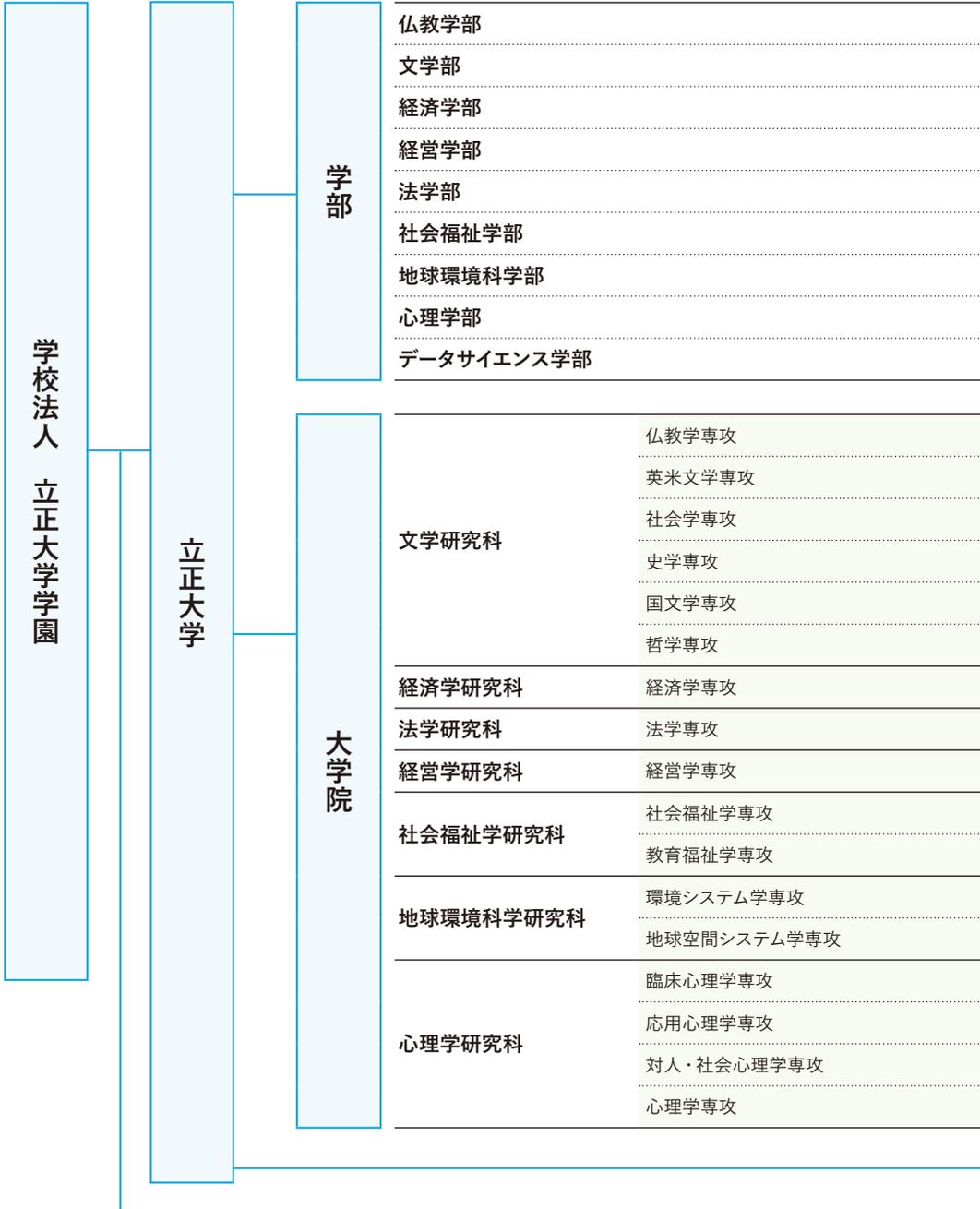
グラウンドが人工芝で整備され、その横にアカデミックキューブとスポーツキューブがあります。また新しい学生寮(ユニデンス)A・B館も左手に見えます

# 略沿革

西暦	和暦	出来事
1580年	天正 8 年	日蓮宗の教育機関として下総国飯高郷(千葉県匝瑳市)に飯高檀林を開設
1872年	明治 5 年	東京芝二本榎(港区高輪)に小教院(のちに宗教院に改称)を設立 【立正大学開校の起点】
1875年	明治 8 年	飯高檀林を廃止し、宗教院を大教院に改組 学祖・新居日薩が大教院にて開講式を举行
1904年	明治 37 年	東京府下荏原郡大崎村谷山ヶ丘(品川区大崎)に日蓮宗大学林を設立 小林日董が大学林長(初代)に就任
1907年	明治 40 年	日蓮宗大学林を日蓮宗大学に改組
1919年	大正 8 年	財団法人日蓮宗大学を設立
1924年	大正 13 年	大学令により立正大学の設立が認可 文学部(宗教学科・哲学科・社会学科・史学科・文学科)、予科、研究科を設置 財団法人日蓮宗大学を財団法人立正大学に改組
1925年	大正 14 年	日蓮宗大学を立正大学専門部に改称し、宗教科、国語漢文科、歴史地理科を設置
1947年	昭和 22 年	文学部に地理学科を設置
1949年	昭和 24 年	学校教育法による新制大学として認可 第I部[昼間部]に仏教学部(宗学科・仏教学科)、文学部(哲学科・史学科・国文学科・社会学科)、第II部[夜間部]に仏教学部(宗学科)、文学部(史学科・国文学科・社会学科・地理学科)を設置
1950年	昭和 25 年	文学部英文学科[第I部、第II部]、経済学部(経済学科)[第I部、第II部]、立正大学短期大学部を設置
1951年	昭和 26 年	財団法人立正大学を学校法人立正大学学園(立正大学・同短期大学部・立正高等学校・立正中学校)に改組 立正大学専門部を廃止 大学院文学研究科を設置
1952年	昭和 27 年	石橋湛山、第16代学長に就任
1957年	昭和 32 年	文学部[第I部]に地理学科を設置
1967年	昭和 42 年	熊谷キャンパスに教養部を設置 経営学部(経営学科)を設置
1981年	昭和 56 年	法学部(法学科)を設置

西暦	和暦	出来事
1986年	昭和61年	文学部英文学科を文学部英米文学科に改称
1988年	昭和63年	大学院経済学研究科を設置
1992年	平成4年	開校120周年
1994年	平成6年	大学院法学研究科を設置
1995年	平成7年	教養部を廃止
1996年	平成8年	社会福祉学部(社会福祉学科、人間福祉学科)を設置
1998年	平成10年	地球環境科学部(環境システム学科、地理学科)、大学院経営学研究科を設置
2000年	平成12年	大学院社会福祉学研究科、大学院地球環境科学研究科を設置
2001年	平成13年	短期大学部を廃止
2002年	平成14年	心理学部(臨床心理学科)を設置 文学部国文学科、英米文学科を統合し、文学部文学科を設置 第II部[夜間部]を廃止
2004年	平成16年	大崎キャンパスに総合学術情報センター竣工 大学院心理学研究科を設置
2011年	平成23年	心理学部に対人・社会心理学科を設置
2012年	平成24年	開校140周年 社会福祉学部人間福祉学科を子ども教育福祉学科に改称
2014年	平成26年	大崎キャンパスの名称を品川キャンパスに変更 法学部および法学研究科が2014年度入学者より品川キャンパスに履修校地変更
2017年	平成29年	熊谷キャンパス開設50周年
2021年	令和3年	データサイエンス学部を設置
2022年	令和4年	開校150周年

# 立正大学学園組織図



宗学科 仏教学科

哲学科 史学科 社会学科 文学科

経済学科

経営学科

法学科

社会福祉学科 子ども教育福祉学科

環境システム学科 地理学科

臨床心理学科 対人・社会心理学科

データサイエンス学科

修士課程 博士後期課程

修士課程

修士課程

修士課程 博士後期課程

修士課程

修士課程 博士後期課程

修士課程 博士後期課程

修士課程

修士課程

修士課程

博士後期課程

## 研究所

日蓮教学研究所

法華経文化研究所

人文科学研究所

経済研究所

産業経営研究所

法制研究所

社会福祉研究所

環境科学研究所

心理学研究所

データサイエンス研究所

## センター等

研究推進・地域連携センター

石橋湛山研究センター

データサイエンスセンター

教職教育センター

全学教育推進センター

ボランティア活動推進センター

情報環境基盤センター

国際交流センター

入試センター

キャリアサポートセンター

心理臨床センター

図書館

博物館

大学史料編纂室

障害学生支援室

立正大学附属立正中学校  
立正大学附属立正高等学校

# 写真で見る立正大学の150年

---

2022年3月25日発行

編集・発行 立正大学史料編纂室  
〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16  
TEL.03-3492-2690  
FAX.03-5487-3339

編集協力 株式会社出版文化社  
東京・日本橋茅場町 大阪・本町 名古屋・金山

印刷 株式会社広済堂ネクスト  
製本 株式会社難波製本

---

©2022 立正大学史料編纂室



